Copyright © 2012 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

目次

- 改訂情報
- はじめに
  - 本書の目的
  - 前提条件
  - 対象読者
  - 用語解説
- インストール・環境設定
  - IOWebDOC のインストール
  - 環境設定
  - Java I/F の配置
  - ライセンス登録
  - レイアウトデザインツールのインストール (Windows 32bitのみ)
  - IM-PDFDesigner for Accel Platform 構成ファイルの作成
  - テナント環境の構築
- アンインストール
  - 帳票エンジン（IOWebDOC）のアンインストール
  - IM-PDFDesigner for Accel Platform のアンインストール
  - レイアウトデザインツール（IOWebDOC）のアンインストール
- 【補足】 IM-PDFDesigner for Accel Platform へのバージョンアップ手順
  - 廃止メソッド
  - 廃止クラス
  - 利用可能フォント（等幅フォント）
  - データファイルの文字コード（SJIS/MS932）
  - ファイルの拡張子
  - IM-PDFDesigner for Accel Platform へのバージョンアップ手順
- 【補足】 intra-mart e Builder for Accel Platform との連携方法
  - 環境構築手順
  - intra-mart e Builder for Accel Platform 用の環境変数設定
  - 上記を設定をしてもエラーとなる場合
- 【補足】帳票エンジン（IOWebDOC）の差し替え手順
  - Windows Server (64 bit) 編
  - Red Hat Enterprise Linux 6 (64 bit)編

改訂情報

変更年月日	変更内容
2012-12-21	初版
2013-12-20	第2版 下記を追加・変更しました。 ▪ ドキュメント全般 Windows Server 2012 向けの記述を追加しました。
2014-04-01	第3版 下記を追加・変更しました。 ▪ intra-mart eBuilder for Accel Platform との連携方法を追加しました。
2014-12-01	第4版 下記を追加・変更しました。 ▪ ドキュメント全般 Windows Server 2012 R2 向けの記述を追加しました。
2016-02-26	第5版 下記を追加・変更しました。 ▪ Linux版 IOWebDOC セットアップファイルの拡張子を[tar.gz]→[tar]へ変更しました。
2016-08-01	第6版 下記を追加・変更しました。 ▪ 「IM-PDFDesigner for Accel Platform 構成ファイルの作成」節を追加しました。 ▪ 「テナント環境の構築」節を追加しました。 ▪ 「【補足】 IM-PDFDesigner for Accel Platform へのバージョンアップ手順」節を追加しました。 ▪ 「【補足】 intra-mart e Builder for Accel Platform との連携方法」節を追加しました。 ▪ 「【補足】帳票エンジン（IOWebDOC）の差し替え手順」節を追加しました。
2016-12-01	第7版 下記を追加・変更しました。 ▪ 「【補足】 intra-mart e Builder for Accel Platform との連携方法」に「上記を設定をしてもエラーとなる場合」節を追加しました。

はじめに

本書の目的

本書では IM-PDFDesigner for Accel Platform のセットアップ手順について説明します。

前提条件

リリースノートに記載されているシステム要件を満たしている必要があります。
詳細は 「 IM-PDFDesigner for Accel Platform リリースノート」を参照してください。

また、本製品のインストールと運用にあたって、下記の技術および知識が必要になります。

- オペレーティングシステム
- ファイルシステム
- ネットワーク（とくにTCP/IP関連の知識）

なお、本製品をご利用になられる環境についても、事前に把握した上でインストールを開始して下さい。
インストールに際しては、下記の事項に関して事前にチェックすることを推奨します。

- intra-mart Accel Platform サーバの構成
- intra-mart Accel Platform および関連ソフトウェアをインストールしたディレクトリ
- intra-mart Accel Platform Storage領域
- intra-mart Accel Platform ディスクの空き容量

対象読者

以下の利用者を対象としています。

- IM-PDFDesigner for Accel Platform のセットアップを行われる方

用語解説

intra-mart Accel Platform	iAP と略します。
IM-PDFDesigner for Accel Platform	PDFデザイナー と略します。
Resin をインストールしたディレクトリ	%RESIN_HOME% と略します。
IOWebDOC をインストールしたディレクトリ	%IODOC_HOME% と略します。

IOWebDOC のインストール

IOWebDOCとは

IOWebDOCはPDFファイル作成ランタイム（実行モジュール）です。
PDFデザイナー は、IOWebDOC と連携してＰＤＦファイルを作成します。
したがって、IOWebDOC は、PDFデザイナー とは別に、各アプリケーションサーバにインストールする必要があります。

> **注意**
> 古いバージョンの IOWebDOC がインストールされている場合は、 古いバージョンをアンインストールしてからインストールして下さい。

CD-ROM の構成

IOWebDOC のインストーラが同梱されているCD-ROMの構成を説明します。

フォルダ名		ファイル名	内容
win64		webdoc.jp.64.xxxx.zip	Windows Server (64 bit)版 IOWebDOC セットアップファイル
linux64		webdocX.X.X.X.linux.64.jp.sjis.tar	Red Hat Enterprise Linux 6 (64 bit)版 IOWebDOC セットアップファイル
tool		webdoc.jp.32.xxxx.msi	IOWebDOC レイアウトデザインツール (Windows 32bit のみ)
	document	cddedit.pdf	CDD エディタ 操作説明書
		IOCELA_Quick.pdf	IOCELA 簡易マニュアル
		iocela_Tool.pdf	IOCELA 操作説明書
		IODOC_Quick.pdf	IOWebDOC 簡易マニュアル
		iodoc_Tool.pdf	IODOC ツールマニュアル
JavaIF		iowebdoc.jar	IOWebDOC Java I/F

> **コラム**
> CD-ROMの内容に不備がある場合は、弊社までご連絡下さい。

インストール

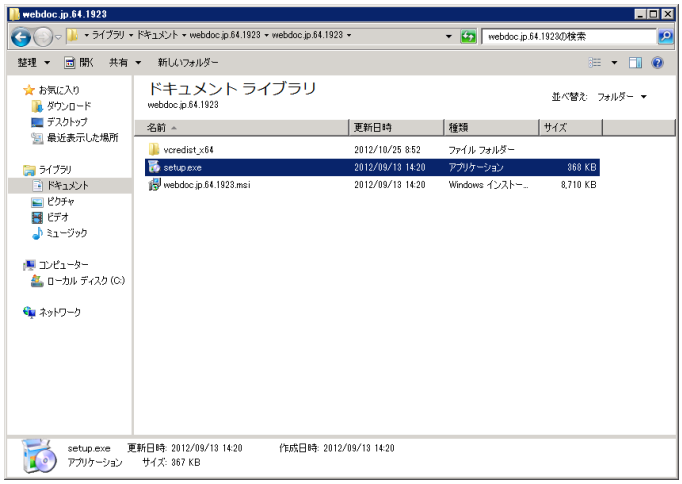
各プラットフォーム別にインストールを行います。

IOWebDOC のインストール - Windows Server (64 bit) 編

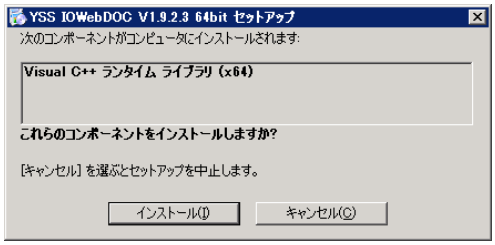
IOWebDOC を Windows Server にインストールする方法を説明します。

インストール手順

1. CD-ROM の win64 フォルダの webdoc.jp.64.xxxx.zip を 任意のフォルダに解凍します。
2. 解凍後のフォルダ内にある setup.exe を実行します。UACが有効な環境では、必ず右クリック→管理社権限でインストールしてください（正常にインストールされないリスクがあります）。



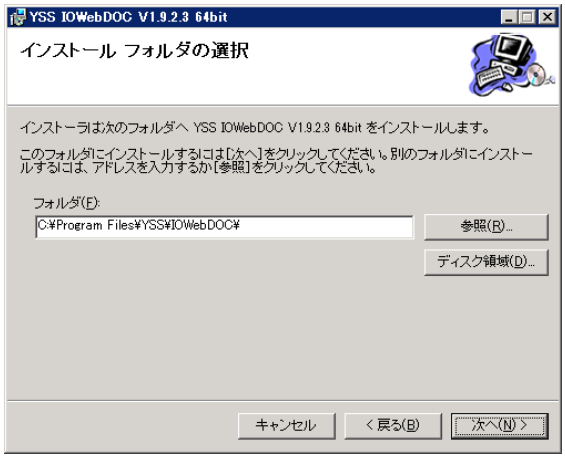
3. Visual C++ ランタイム ライブラリ (x64) を追加インストールする必要がある場合、 下記画面が表示されます。
   表示されない場合は、次の手順 4. に進んでください。
   「インストール(I)」をクリックします。



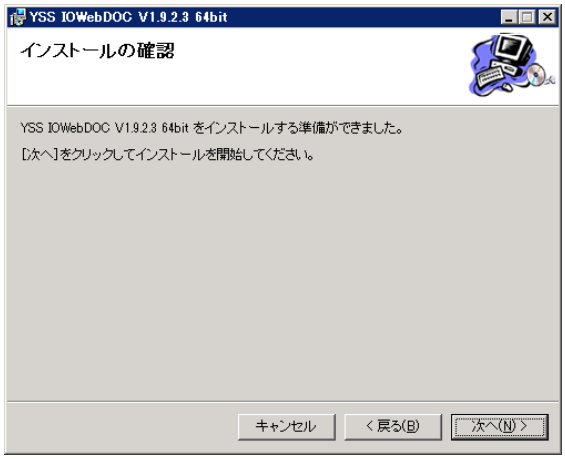
4. IOWebDOC をインストールします。
   「次へ(N)」をクリックします。

5. ライセンス条項の内容を確認し、同意する場合は「同意する(A)」を選択して「次へ(N)」 をクリックします。

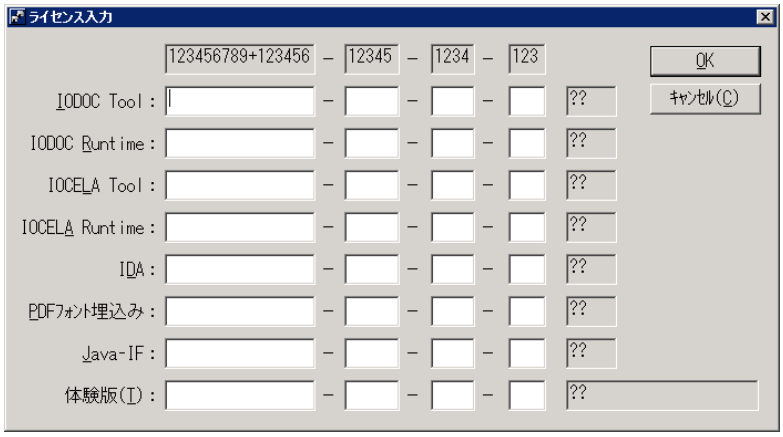
6. インストール フォルダを指定して、「次へ(N)」をクリックします。



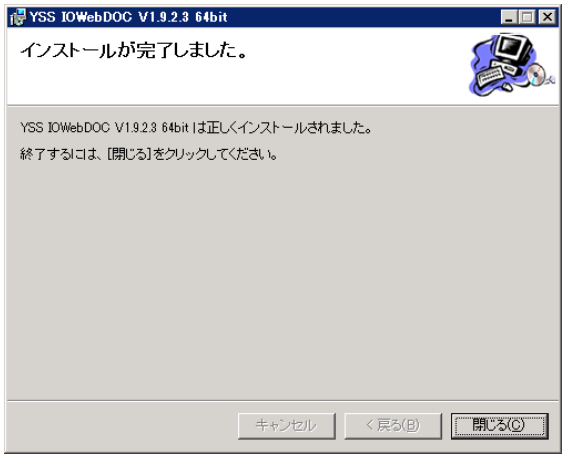
7. 「次へ(N)」をクリックします。



8. ライセンスを入力します。
   「OK」をクリックします。



9. 「閉じる(C)」をクリックします。



以上で、IOWebDOCのインストールは完了です。

IOWebDOC のインストール - Red Hat Enterprise Linux 6 (64 bit)編

IOWebDOC を Red Hat Enterprise Linux 6 にインストールする方法を説明します。

インストール先を下記ディレクトリとして説明します。

```
/usr/local/
```

インストール手順

1. IOWebDOC セットアップファイルをコピーします。
   CD-ROM の linux64 フォルダの webdocX.X.X.X.linux.64.jp.sjis.tar を /usr/local/ にコピーします。

```
$ cp [CD-ROM マウントディレクトリ]/linux64/webdoc.x.x.x.x.linux.64.jp.sjis.tar /usr/local/
```

2. 圧縮ファイルを解凍します。

```
$ cd /usr/local/
$ tar xvf webdoc.x.x.x.x.linux.64.jp.sjis.tar
```

> **コラム**
>
> Resin を実行するユーザにて解凍します。
> 解凍された各ファイルの権限に、解凍したユーザ権限 (実行、参照権限) が付与されます。

3. 解凍されたディレクトリの名称を *webdoc* に変更します。

```
$ mv webdoc.x.x.x.x.linux.64.jp.sjis webdoc
```

4. ライセンスファイルを入力します。
   webdoc/etc/license.txt にライセンスを入力します。

```
$ vi webdoc/etc/license.txt
```

webdoc/etc/license.txt

```
#
# IODOC/IOWebDOC License file
#

#Sample
#6d8b01ud00030d4b-ABCDE-1234-abc    ←先頭に"#"を追加するとコメント行となります。
#                                   次行からライセンスを入力して下さい。
```

以上で、IOWebDOCのインストールは完了です。

環境設定

PDFデザイナー の環境設定を説明します。

Windows Server (64 bit) 編

環境変数

1. IOWebDOC を利用するための環境設定を行います。
   以下の表に従い、環境変数を設定して下さい。

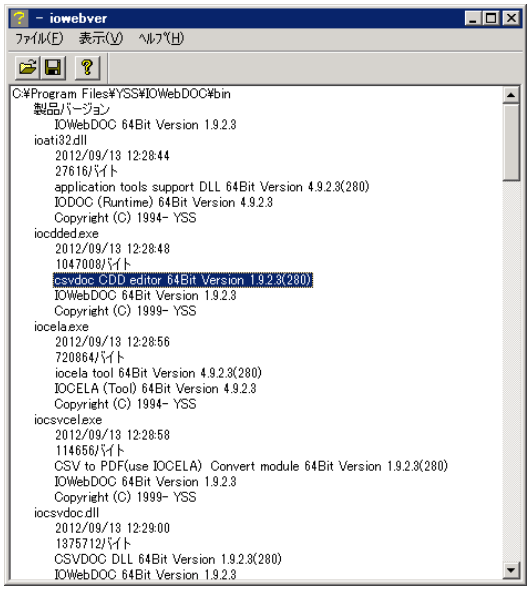
変数名	設定内容
PATH	%IODOC_HOME%/bin を追加

2. コマンドプロンプトにて以下のコマンドを入力します。

```
> iowebver
```

3. 以下の画面が表示されたら環境設定は完了です。

   画面が表示されない場合は、設定内容に間違いがないか確認をし、再度 コマンドを実行して下さい。



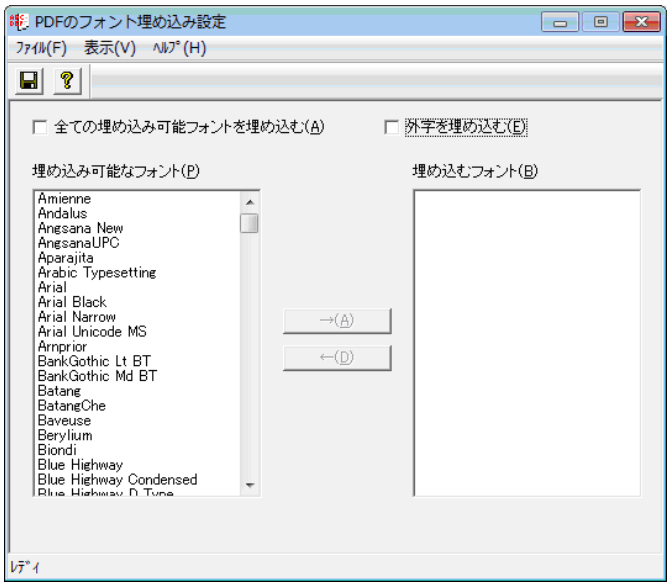
> **コラム**
>
> 環境変数は、Resin を実行するユーザの環境変数に追加設定して下さい。

> **コラム**
>
> 環境変数の設定は、Windowsの環境変数設定画面で行います。
> [システムのプロパティ]ダイアログを開いて、設定をして下さい。

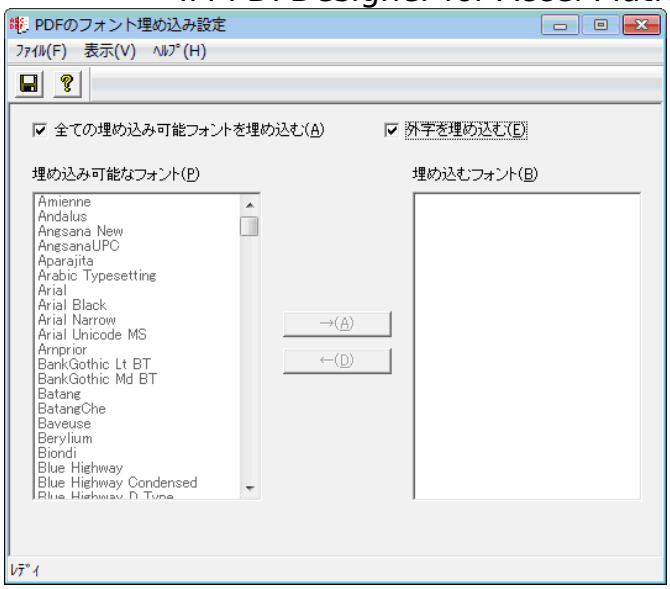
フォント埋め込み・外字オプションの設定

多言語をPDFファイルに埋め込むためには、PDFファイルにフォントを埋め込む設定が必要です。
以下に設定方法をご説明させて頂きます。

スタート→すべてのプログラム→YSS IOWebDOC→PDFフォント埋め込み



上記の画面が起動します。



上記のように「全ての埋め込み可能フォントを埋め込む」「外字を埋め込む」にチェックをしてください。
その上で、 **「ファイル→上書き保存」の指定** または **「保存ボタン」を押す** を行ってください。これをせずに単純に「×」ボタンを押してしまうと、設定が保存されません。

Red Hat Enterprise Linux 6 (64 bit) 編

環境変数

1. IOWebDOC を利用するための環境設定を行います。
   以下の表に従い、環境変数を設定して下さい。

変数名	設定内容
IODOC	%IODOC_HOME% (末尾の”/”スラッシュなし)

```
$ IODOC=/usr/local/webdoc

$ export IODOC
```

2. 各環境変数を設定します。
   %IODOC_HOME%/iodoc.sh に実行権限を追加して実行します。

```
$ chmod +x /usr/local/webdoc/iodoc.sh

$ . /usr/local/webdoc/iodoc.sh
```

> コラム
>
> iodoc.sh を実行すると下記の環境変数が追加されます。
>
> | | |
> |---|---|
> | PATH | $IODOC/bin 追加 |
> | LD_LIBRARY_PATH | $IODOC/lib 追加 |

3. 環境設定が正しく設定できていることを確認します。
   バージョンが下記のように表示されることを確認して下さい。

```
$ iowebver
IOWebDOC 64bit Version x.x.x.x(linux/sjis)
```

ファイルの権限設定

Resin を実行するユーザ以外で解凍してしまった場合、 もしくは権限ユーザを変更する場合の手順を説明します。

> コラム
> Windows環境にインストールしている場合、この設定は必要ありません。

実行権限の設定

binディレクトリ内のすべてのファイルに実行(execute)権限を設定して下さい。

a. IOWebDOC をインストールしたディレクトリに移動します。

b. binディレクトリ に移動します。

c. すべてのファイルに実行権限を付与します。

```
$ cd /usr/local/webdoc/

$ cd bin/

$ chmod +x *
```

参照権限の設定

以下に示すファイルに参照(Read)権限を設定して下さい。

- libディレクトリ内のすべてのファイルに参照権限を設定して下さい。
- etcディレクトリ内のすべてのファイルに参照権限を設定して下さい。

```
$ cd /usr/local/webdoc/

$ cd lib/

$ chmod +r *

$ cd etc/

$ chmod +r *
```

なお、サブディレクトリがある場合は、サブディレクトリおよびサブディレクトリ内の ファイルにも同様の権限を設定して下さい。

Java I/F の配置

Windows Server (64 bit) 編

CD-ROM の JavaIF フォルダの iowebdoc.jar を %RESIN_HOME%/lib にコピーします。

Red Hat Enterprise Linux 6 (64 bit) 編

CD-ROM の JavaIF フォルダの iowebdoc.jar を %RESIN_HOME%/lib にコピーします。

```
$ cp [CD-ROM マウントディレクトリ]/JavaIF/iowebdoc.jar %RESIN_HOME%/lib/
```

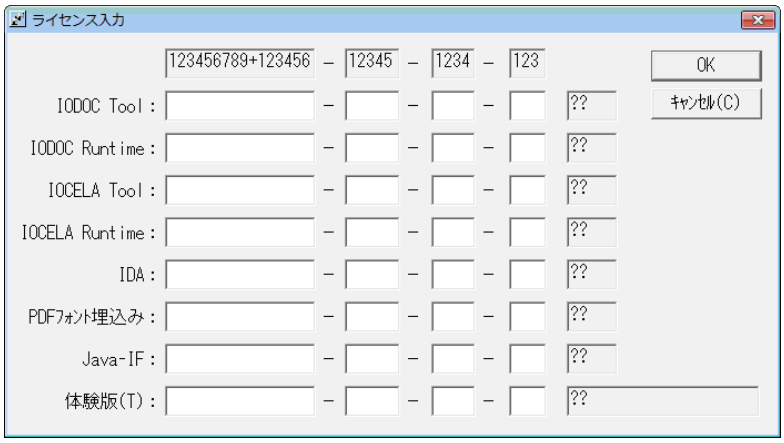
ライセンス登録

ライセンスの登録失敗または、ライセンスの有効期限切れなどの場合にライセンスの再登録が必要になります。
ライセンスの再登録の手順を説明します。

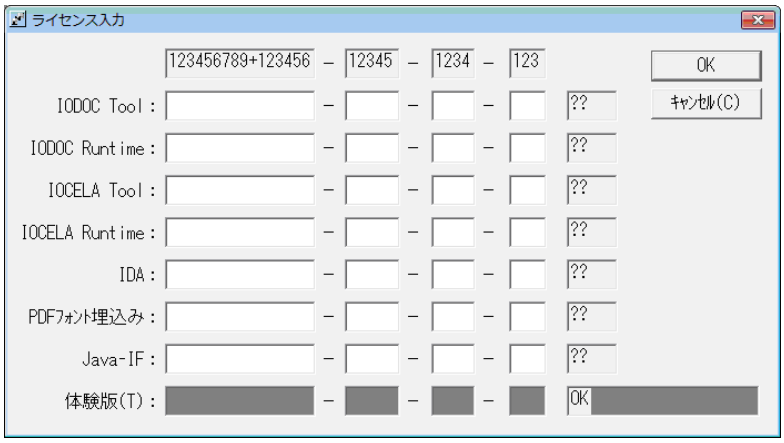
> **コラム**
> 新規に PDFデザイナー をインストールしていて、IOWebDOC の動作確認が完了されている場合は、 この手順は必要ありません。

Windows Server (64 bit) 編

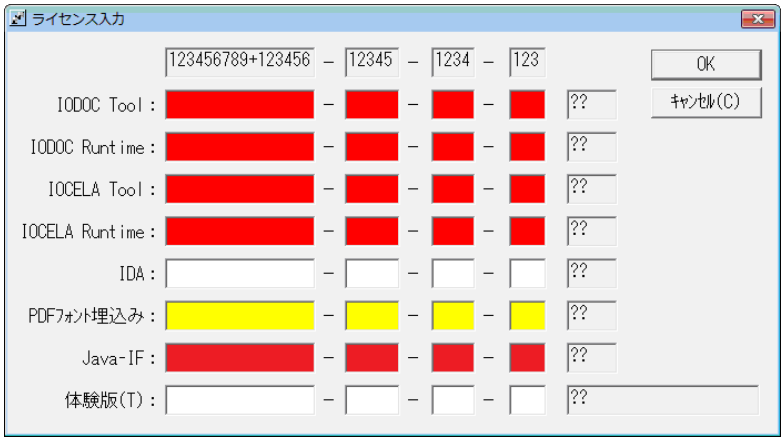
スタート→すべてのプログラム→YSS IOWebDOC→ライセンス→ライセンスの入力ボタンを押す



何もライセンスが入っていない場合、上記の画面が表示されます。



体験版ライセンス番号は期限ごとに異なります。一番右の欄の横に「OK」と出れば使用可能です。



正規のライセンスは上記の赤い欄に入力します。（欄が赤くなる訳ではありません）。
「PDFフォント埋め込み」の欄（上記黄色の欄）への入力も必要です。こちらに関しては 以下のライセンスを黄色の欄に入力してください。このライセンスはAccelPlatform対応版 限定で利用可能です。

```
d89717wrAC000507-pc777-0808-019
```

> コラム
> V7.xx以下で「PDFフォント埋め込み」の機能を使用する場合は費用が必要になりますので、営業までご相談ください。

Red Hat Enterprise Linux 6 (64 bit) 編

1. viエディタ等で /usr/local/webdoc/etc/license.txt を修正します。

```
$ vi /usr/local/webdoc/etc/license.txt
```

2. 古いライセンスをコメントアウトします。

```
#
#       IODOC/IOWebDOC License file
#

#Sample
#6d8b01ud00030d4b-ABCDE-1234-abc       ←先頭に"#"を入れるとコメント行となる
```

3. 次行からラインセンスを入力します。

> コラム
> 1 行に 1 ライセンス入力して下さい。

以上でライセンスの登録は完了です。

レイアウトデザインツールのインストール (Windows 32bitのみ)

レイアウトデザインツールとは

レイアウトデザインツールとは、PDFファイルを出力する元となる雛形 (フォーマット定義) を作成するためのツールです。

PDFデザイナー を利用する際には、フォーマット定義ファイルを作成するためにランタイムとは別にレイアウトデザインツールを Windows (32bit) 環境にインストールする必要があります。
(PDFデザイナー には、ランタイム 1 ライセンスと、レイアウトデザインツール 1 ライセンスが付属します)
大規模案件などでレイアウトデザインツールを多く必要とされる場合は、レイアウトデザインツールのみご購入ください。
詳細は営業までお問い合わせください。

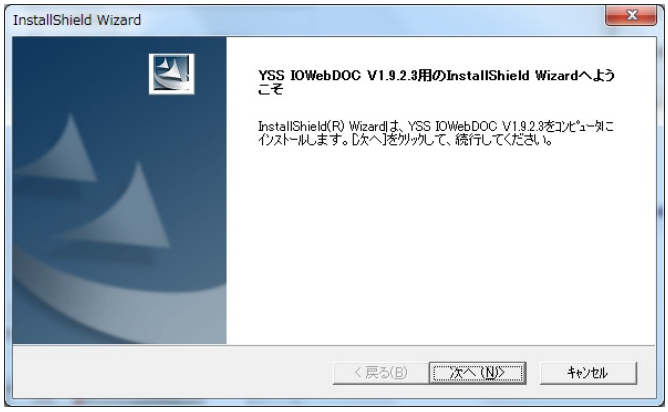
Linux (64bit) 版、もしくはWindows (64bit) 版で正規ライセンスをご購入された場合のレイアウトデザインツールのインストール手順です。

なお、レイアウトデザインツールはレイアウト開発ツールですので、レイアウト定義ファイルの作成がすでに完了していてレイアウト定義の修正や新規開発を行わない場合は、レイアウトデザインツールをインストールする必要はありません。

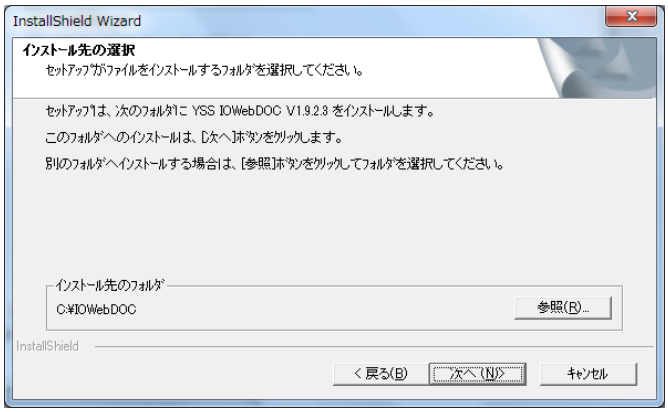
インストール

1. CD-ROM の tool フォルダの webdoc.jp.32.xxxx.msi を実行します。
   ウィザードに従ってインストールします。

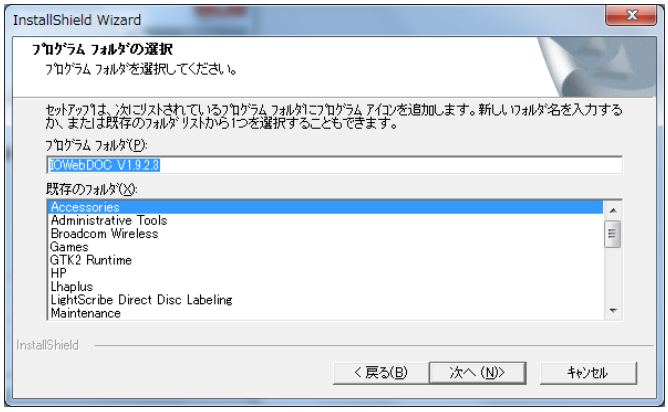
2. 「次へ(N)」をクリックします。



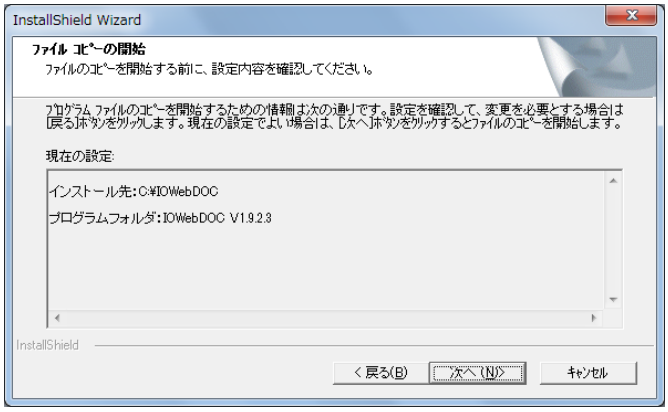
3. インストールフォルダを指定して、「次へ(N)」をクリックします。



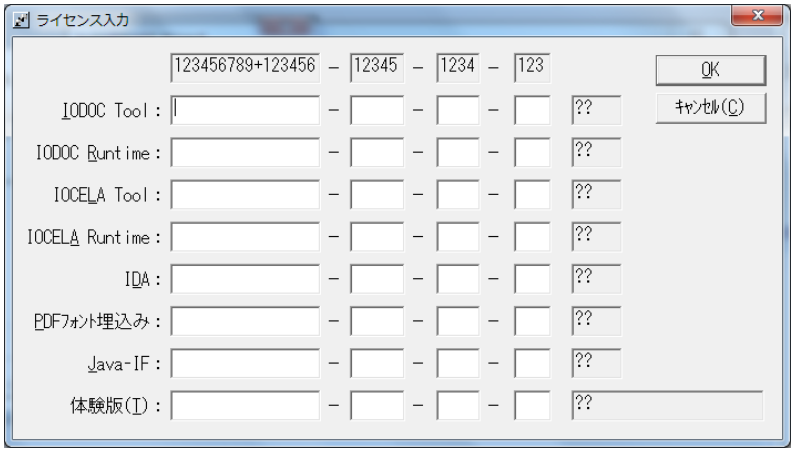
4. 「次へ(N)」をクリックします。



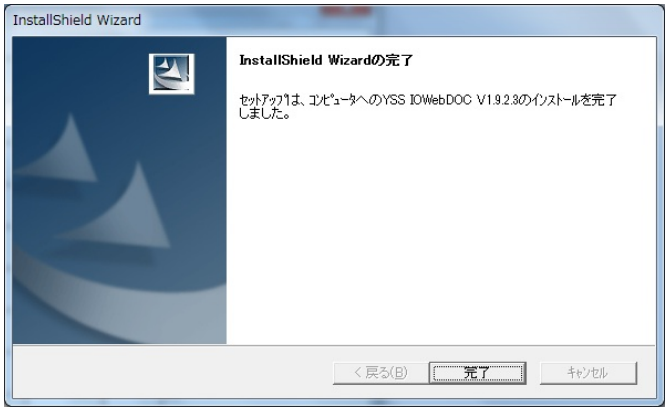
5. 「次へ(N)」をクリックします。



6. ライセンスを入力し、「OK」をクリックします。



7. 「完了」をクリックします。



以上で、レイアウトデザインツールのインストールは完了です。

IM-PDFDesigner for Accel Platform 構成ファイルの作成

プロジェクトの作成

項目

- IM-Juggling とは
- IM-Juggling のインストール
- プロジェクトの新規作成

IM-Juggling とは

IM-Juggling はモジュールの管理、warファイルを出力できる環境構築ツールです。
このツールを使用し、インストールやパッチの適用をします。

> **注意**
> IM-Juggling を利用するには、インターネットに接続している必要があります。

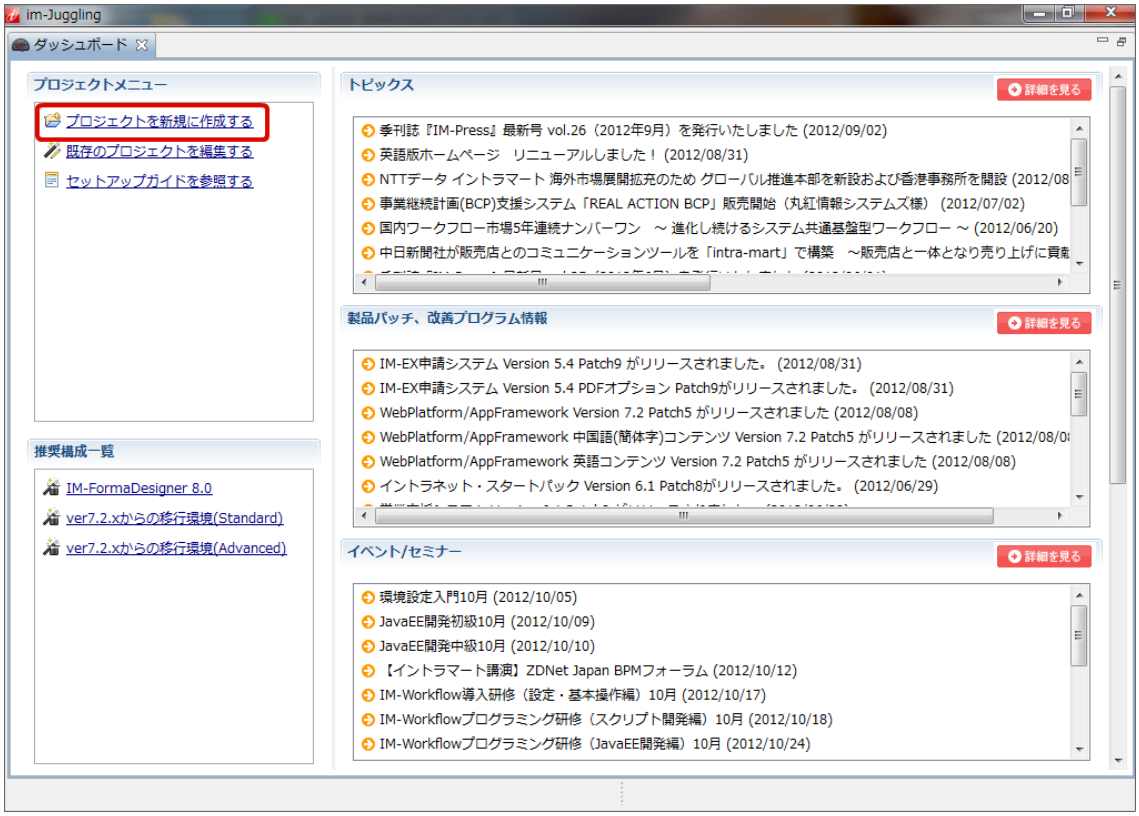
IM-Juggling のインストール

iAP に同梱されているディレクトリより、環境に合わせた IM-Juggling を任意のパスに展開します。

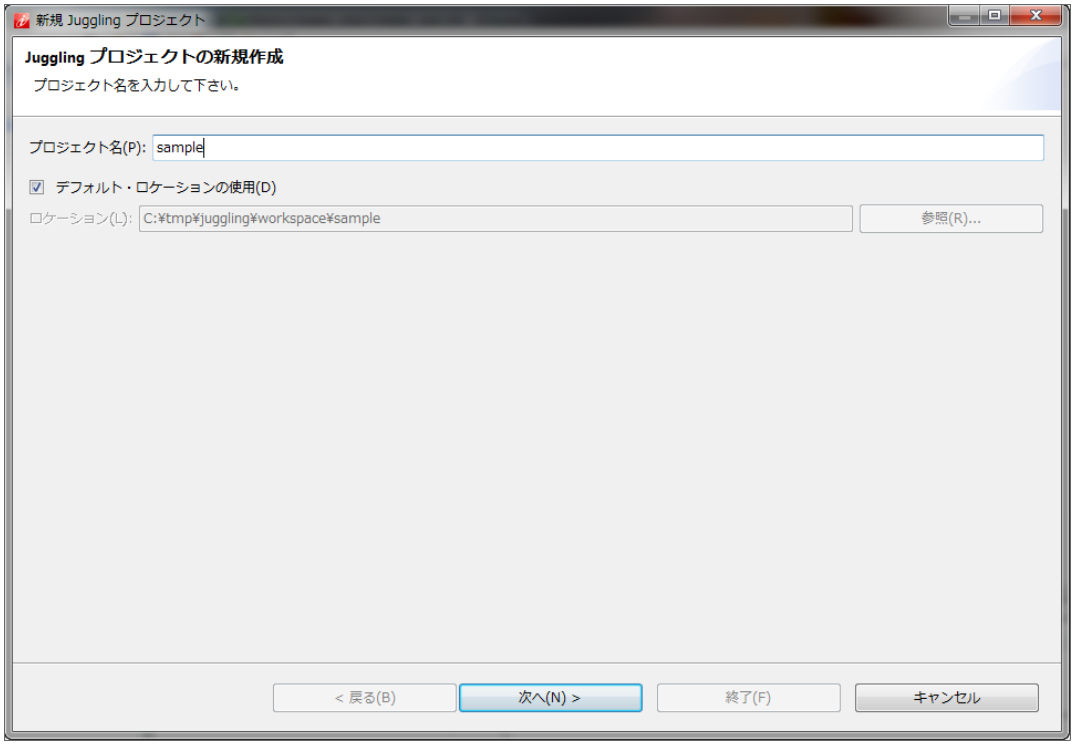
プロジェクトの新規作成

1. 展開したディレクトリ直下にある、 **juggling.exe** を起動します。

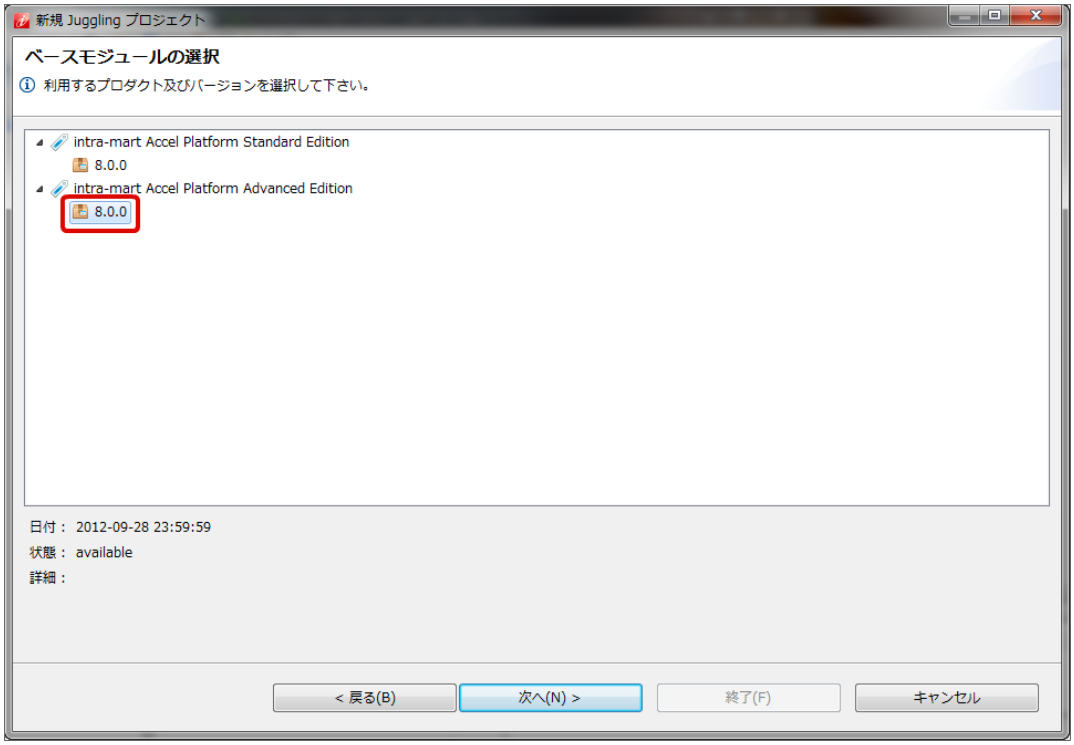
2. ダッシュボードが表示されます。
「プロジェクトを新規に作成する」を選択します。



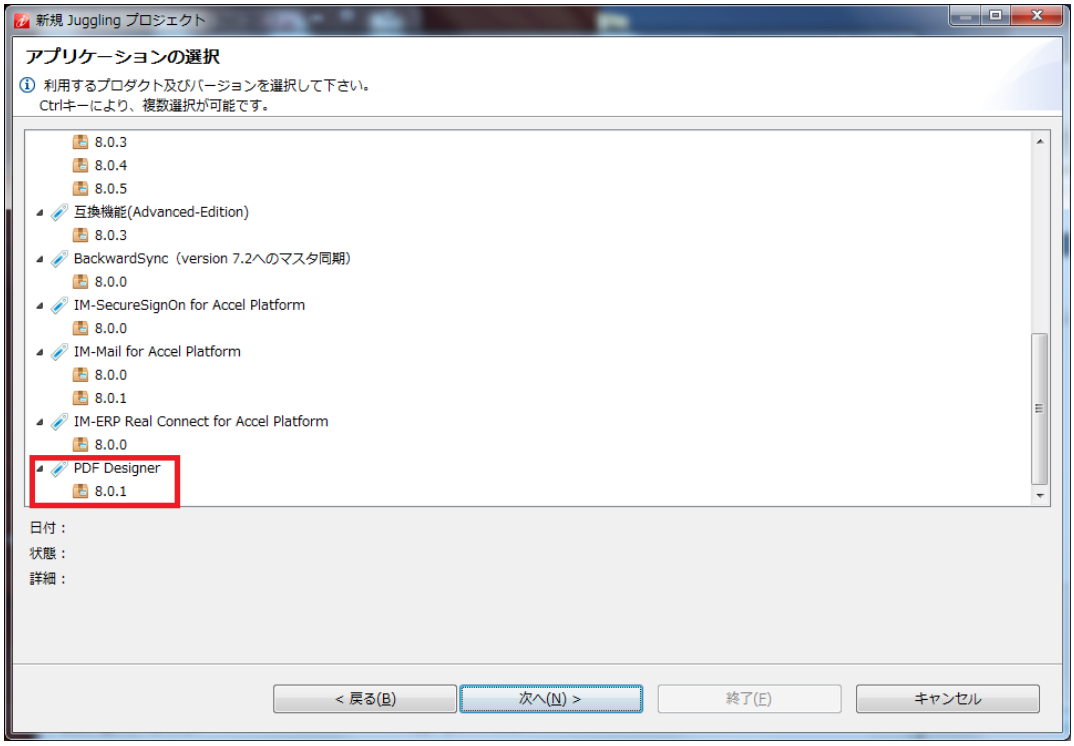
3. ポップアップ表示されたウィザード画面内の「プロジェクト名」に半角英数字の任意のプロジェクト名を入力します。
入力後、「次へ（N）」 をクリックします。



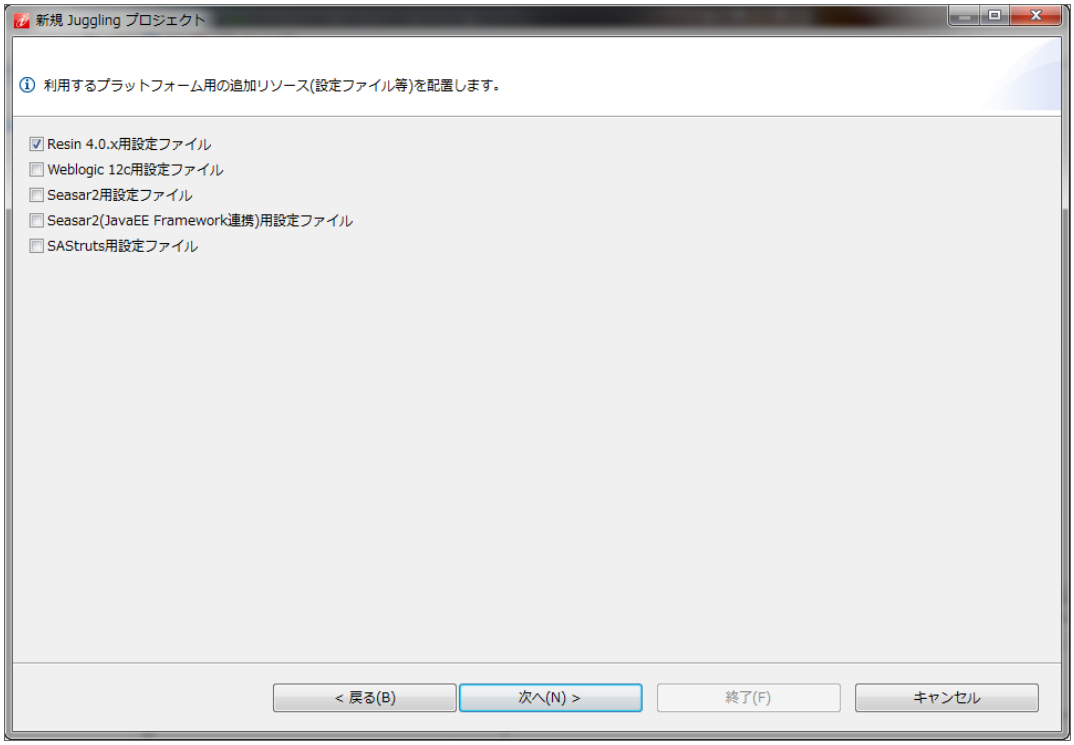
4. 利用するプロダクト及びバージョンを選択します。
選択後、「次へ（N）」をクリックします。



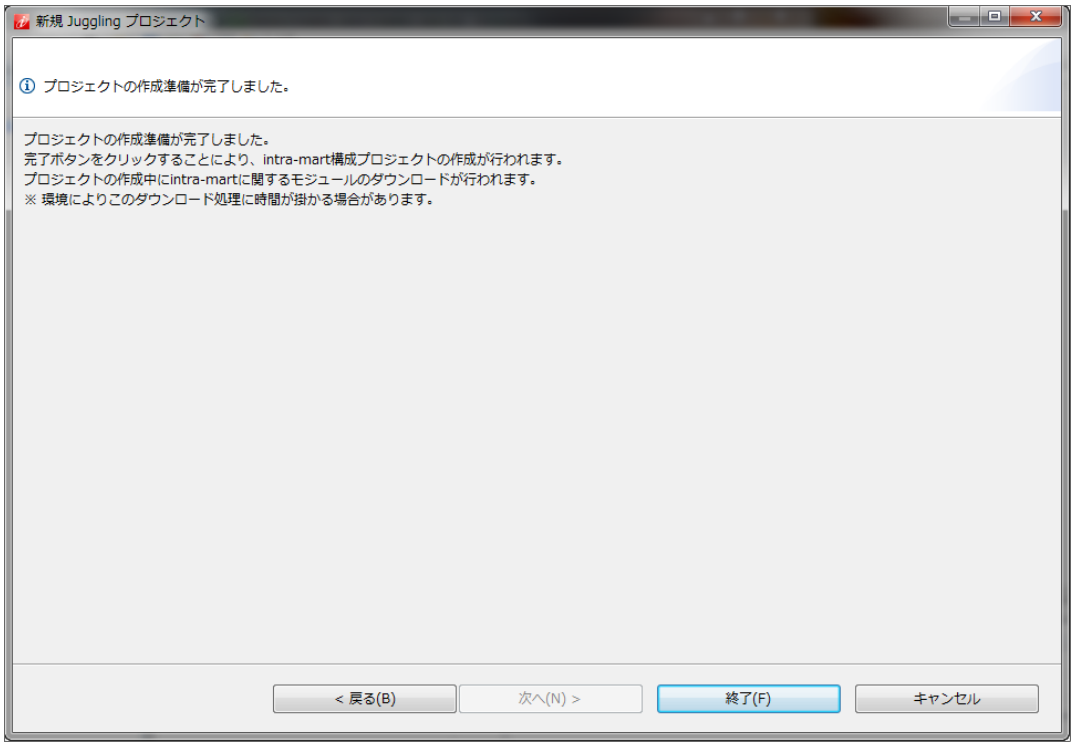
5. 利用するアプリケーションを選択します。([PDF-Designer] - [x.x.x] を選択します。x.x.xはバージョン番号です。)
選択後、「次へ（N）」をクリックします。



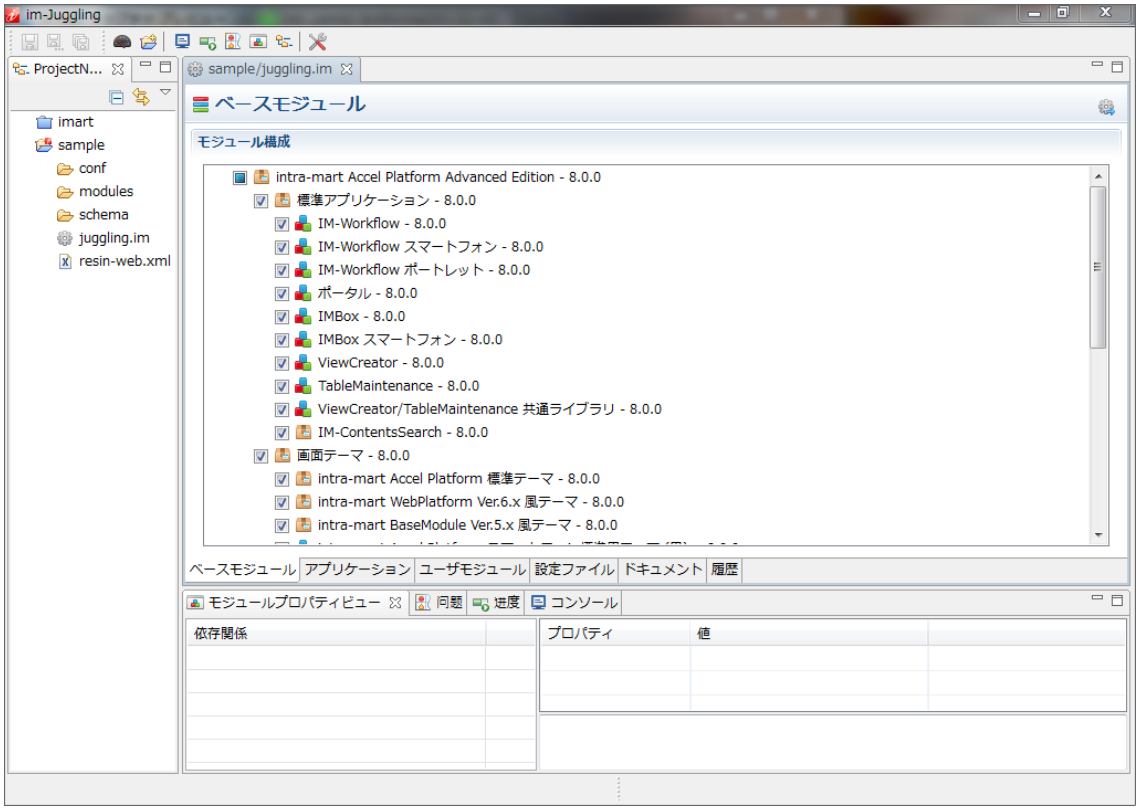
6. 利用するプラットフォーム用の追加リソース(設定ファイル等)を選択します。
選択後、「次へ（N）」をクリックします。



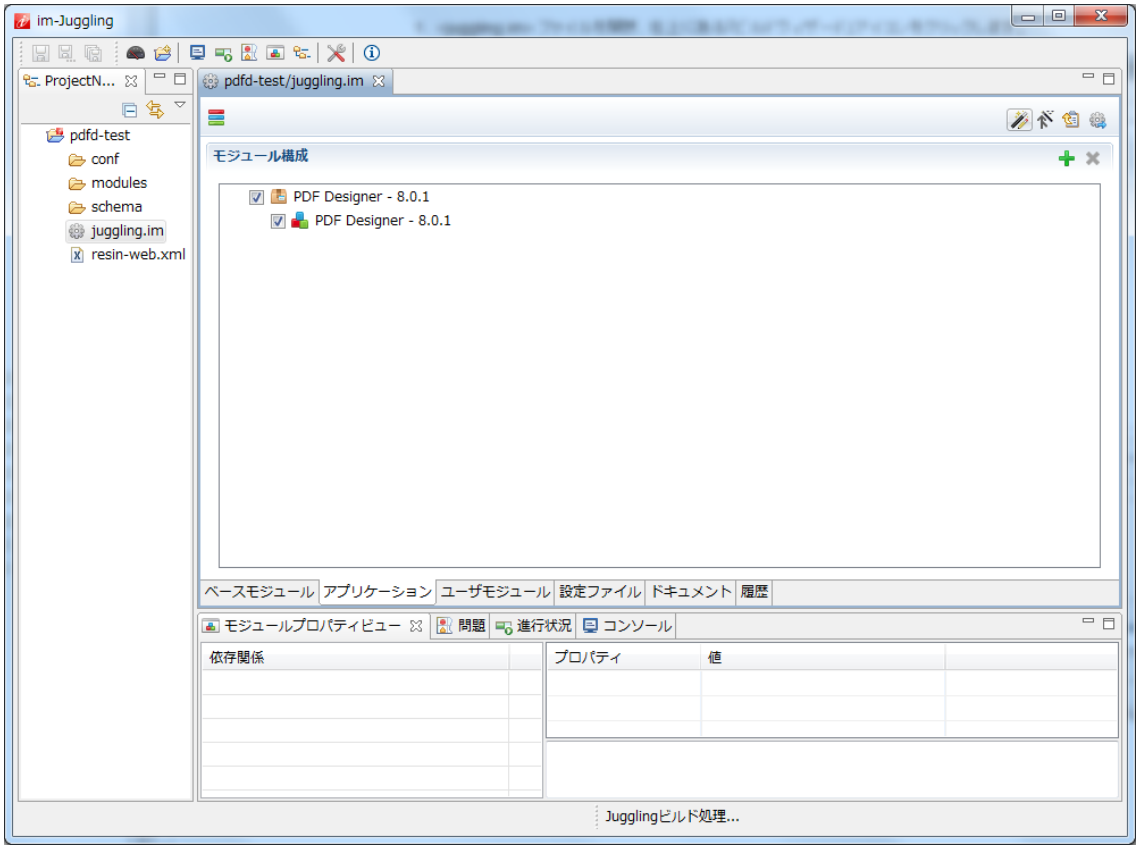
7. 最後に「終了（F）」をクリックします。



8. プロジェクトの作成処理が行われ、完了すると以下の画面が表示されます。



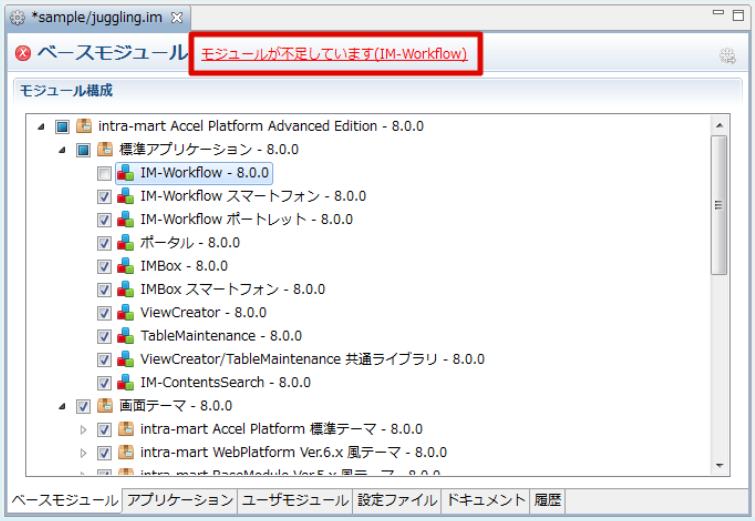
9. 「アプリケーション」タブをクリックし、PDF-Designer - 8.x.x が表示されることを確認して、次の手順に移ります（x.xの部分はバージョン番号となります）。



コラム

画面上部にエラーメッセージが表示される場合

モジュール単位・アプリケーション単位で依存関係を持っています。

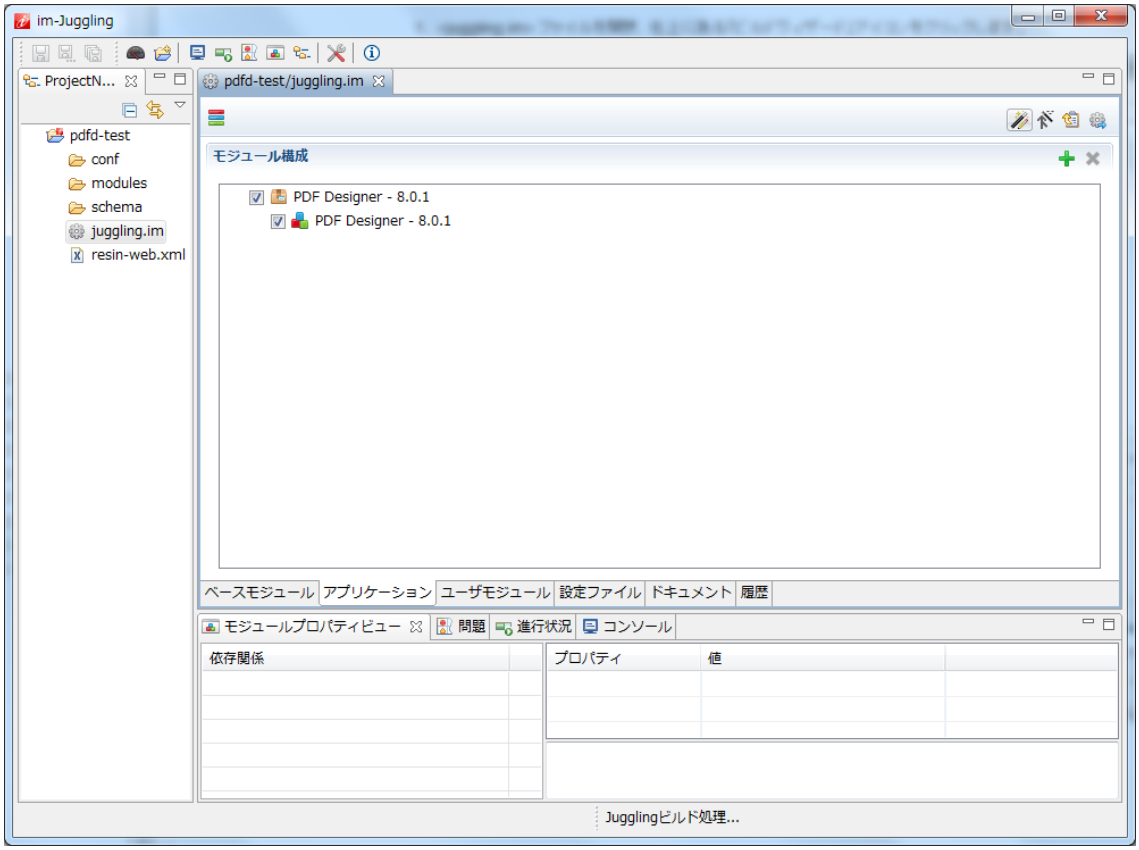


以下の手順で必要な設定を追加することができます。

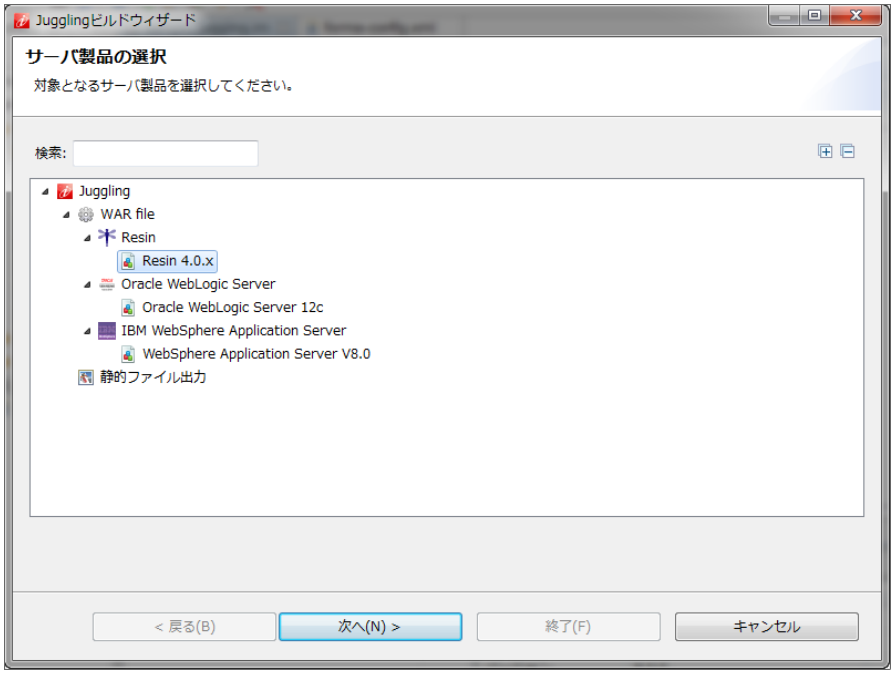
1. メッセージをクリックします。
2. 「依存関係の解決」画面で「OK」をクリックします。

warファイルの出力

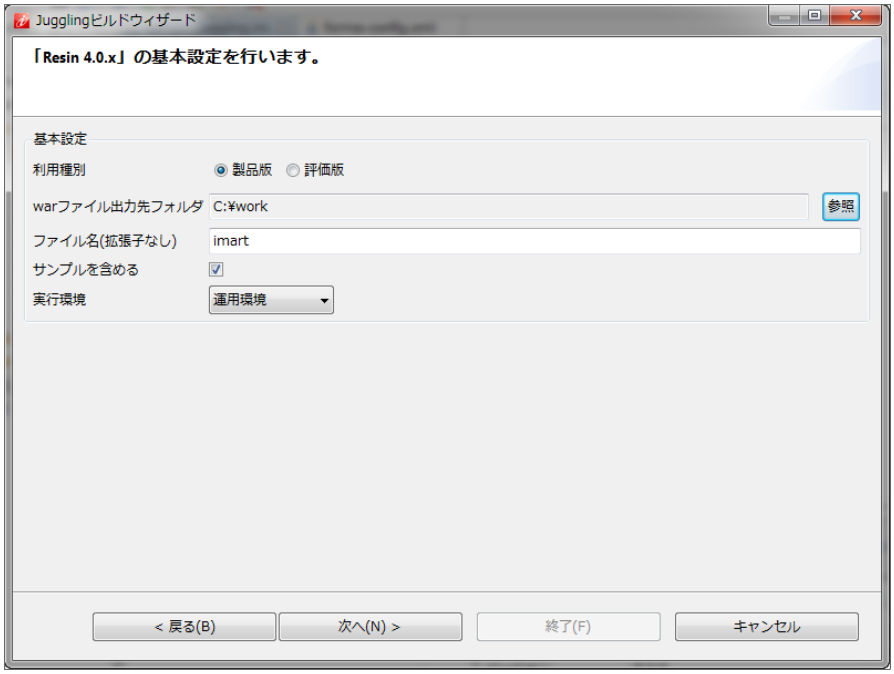
1. <juggling.im> ファイルを開き、右上にある「ビルドウィザード」アイコンをクリックします。



2. 「サーバ製品の選択」画面で対象となるサーバを選択し、「次へ」をクリックします。



3. 「基本設定」画面で設定を行い、「次へ」をクリックします。



利用種別

- 製品版
  ライセンスを購入されたお客様はこちらを選択してください。
- 評価版
  評価版となっております。
  正規に使用する場合はライセンスを購入してください。

実行環境

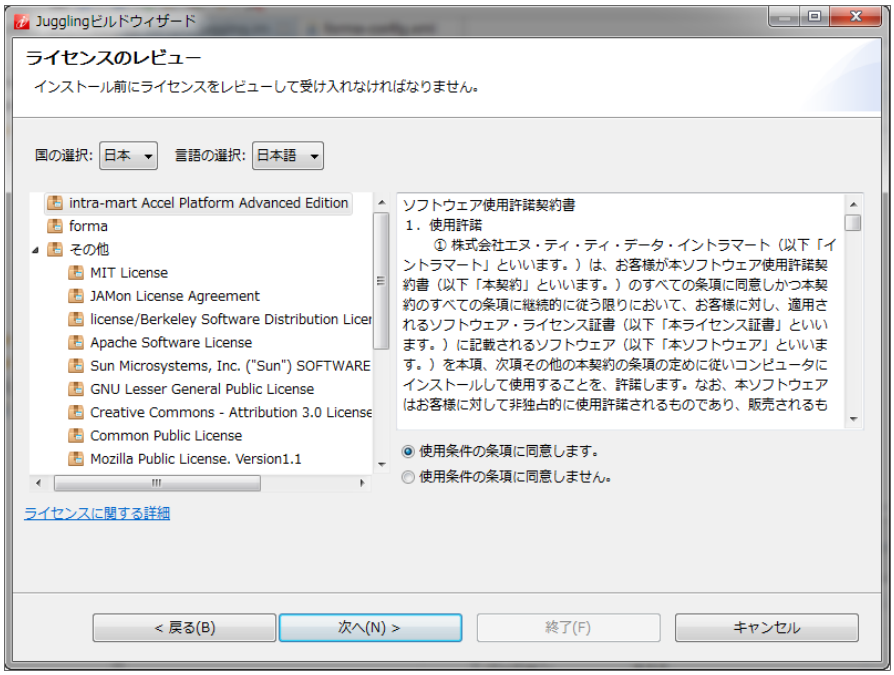
- 単体テスト環境
  単体テスト環境を表します。
  JUnitなどを利用する場合を想定しています。
  パフォーマンスに関しては考慮しません。
- 結合テスト環境
  結合テスト環境を表します。
  IDEを使用したテスト環境などを想定しています。
  一般的に最も利用される環境を想定しています。
  必要最低限の動作環境です。
- 統合テスト環境

統合テスト環境を表します。
本来の実行環境 (APサーバ) を使用した統合テスト環境を想定しています。
カットオーバー直後等でもこの環境を利用することを想定しています。

- 運用環境
  運用環境を表します。
  パフォーマンスを考慮した動作環境です。

> **注意**
> 「warファイル出力先フォルダ」には、実行するユーザの権限があるフォルダを指定してください。

4. 「ライセンスのレビュー」画面で内容を確認し、同意頂ける場合は「使用条件の条項に同意します。」を選択し、「終了」をクリックします。



5. 「設定項目の確認」画面で内容を確認し、「終了」をクリックします。
   Jugglingビルドウィザード画面が立ち上がり、ダウンロードが開始されます。
   ダウンロードに時間がかかりますので、完了するまで操作を行わないでください。

6. warファイルが指定の場所に出力されると、ビルドウィザード画面が閉じます。
   指定したディレクトリにwarファイルが出力されます。

7. IM-Juggling を終了してください。

テナント環境の構築

項目

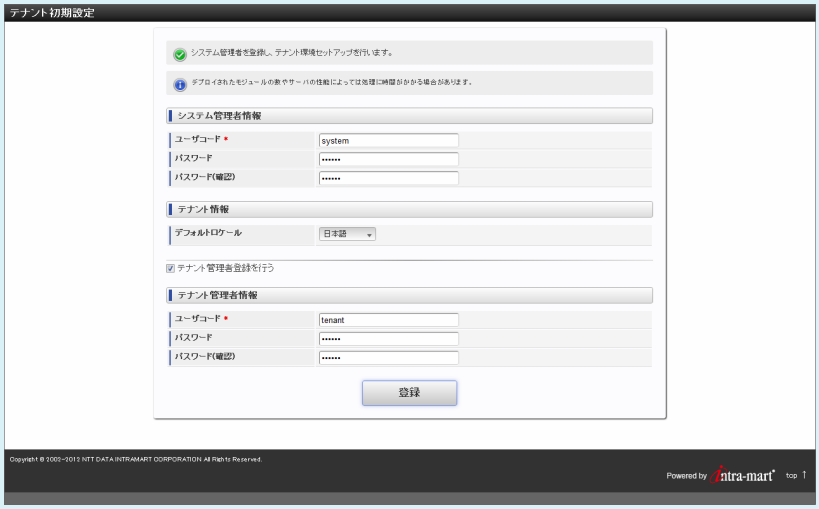
- システム管理者によるテナント環境の構築
  - テナント環境セットアップ
  - ライセンスの登録
  - ポートレットの初期化
  - サンプルデータセットアップ
  - 一般ユーザ管理
- 一般ユーザによる操作
  - 一般ユーザログイン

システム管理者によるテナント環境の構築

テナント環境セットアップ

1. Webブラウザより システム管理者ログイン画面「*http://ホスト名:ポート番号/コンテキストパス/system/login*」 へアクセスします。

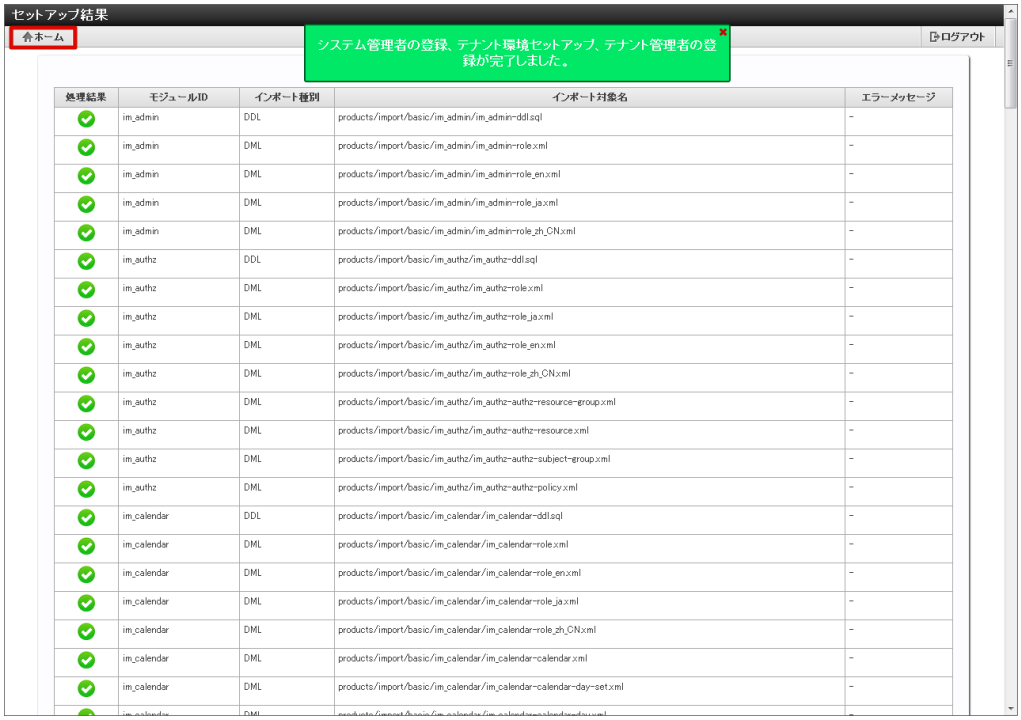
> **コラム**
>
> 初回アクセス時は、システム管理者が未登録のため「テナント初期設定」画面へ自動的に遷移します。
>
> - **「テナント初期設定」画面で英語が表示される場合があります。**
> 日本語で表示したい場合は、ブラウザの言語設定を「日本語(ja)」に変更してください。



2. システム管理者情報、テナント情報、テナント管理者情報を入力し「登録」ボタンをクリックします。
   テナント環境の構築処理が行われます。

> **コラム**
>
> テナント管理者はテナント環境セットアップ後、システム管理者のメニュー「一般ユーザ管理」から登録することもできます。

3. 処理が正常に完了すると、次の結果画面が表示されます。
   正常終了していることを確認し、左上の「ホーム」をクリックします。



ライセンスの登録

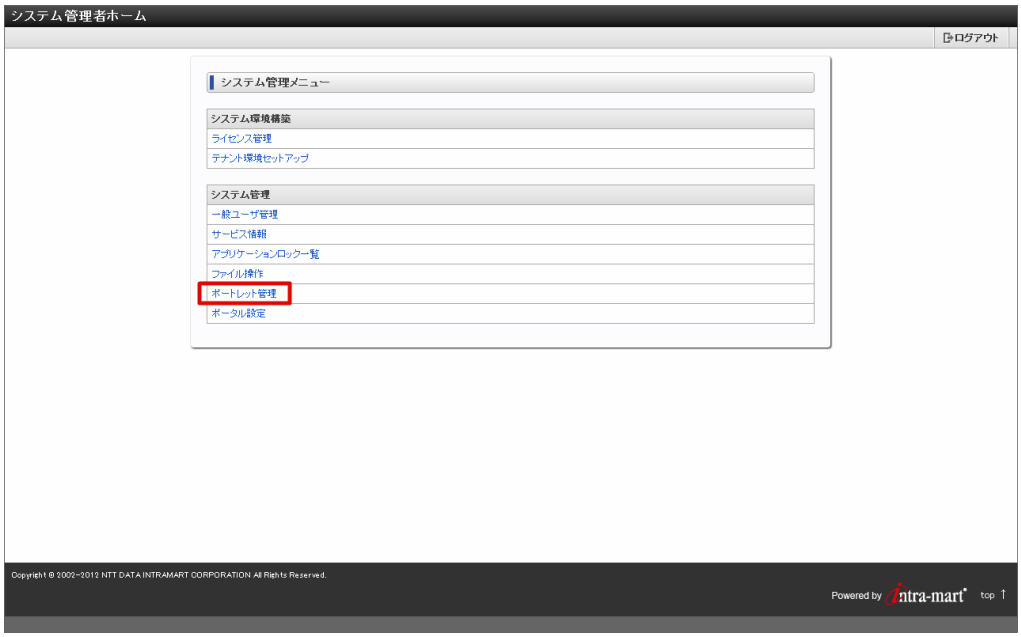
PDFデザイナー を購入されている場合、ライセンスの登録を行ってください。

1. システム管理者のメニュー画面を表示します。
   メニューから「ライセンス管理」をクリックします。

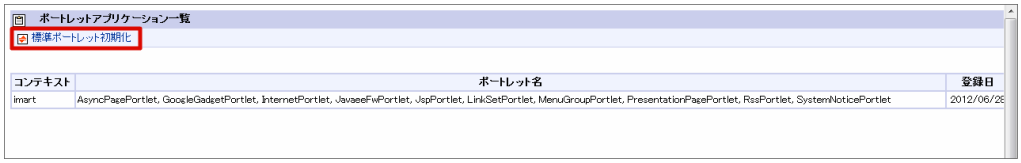
2. 「ライセンスキー登録」からライセンスの登録を行ってください。

ポートレットの初期化

1. システム管理者のメニュー画面を表示します。
   メニューから「ポートレット管理」をクリックします。



左上の「標準ポートレット初期化」をクリックして実行してください。



サンプルデータセットアップ

- サンプルデータをご利用される場合は、以下の手順を実行してください。

この作業で PDFデザイナー のサンプルとして、以下の項目が追加されます。

サンプルデータ (メニュー含む)
PDFデザイナー管理者ロール (pdfsuper)

1. システム管理者のメニュー画面を表示します。
   メニューから「テナント環境セットアップ」をクリックします。

2. 「サンプルデータセットアップ」をクリックします。

> **コラム**
>
> 【参考】テナント環境・サンプルデータセットアップの途中で失敗した場合
>
> 接続先のデータベースのデータを削除し、再度テナント環境セットアップを行ってください。

一般ユーザ管理

- PDFデザイナー管理者ロール (pdfsuper) を一般ユーザに追加します。
  この操作では、デフォルトユーザの「上田」にロールを追加する手順を説明します。

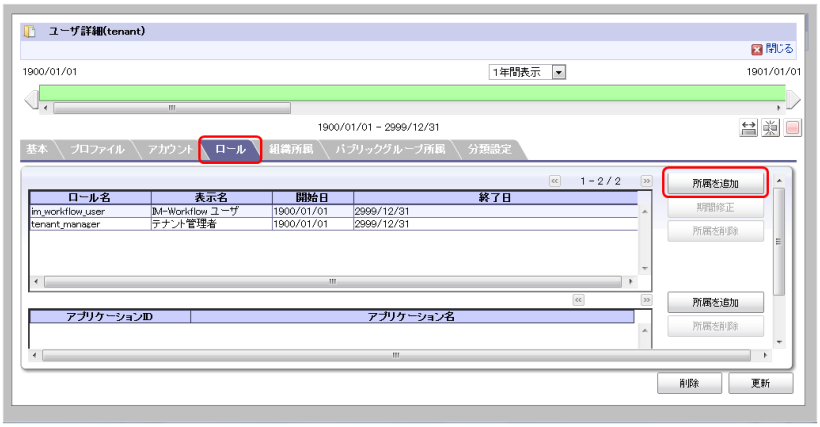
> **コラム**
> サンプルデータセットアップを必ず実行してからこの作業を行ってください。

1. システム管理者のメニュー画面を表示します。
   メニューから「一般ユーザ管理」をクリックします。

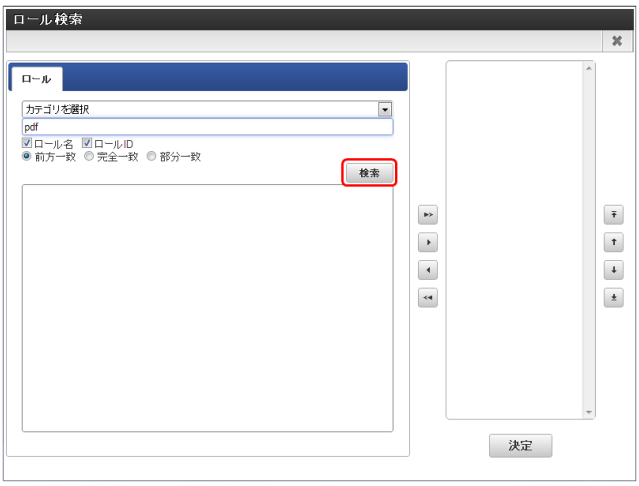
2. 何も入力せずに「検索」をクリックします。

3. 検索結果が下部に表示されたら、[上田]の編集ボタンをクリックします。

4. ユーザ詳細画面から「ロール」タブボタンをクリックし、ロール一覧を表示します。
   「所属を追加」ボタンをクリックします。

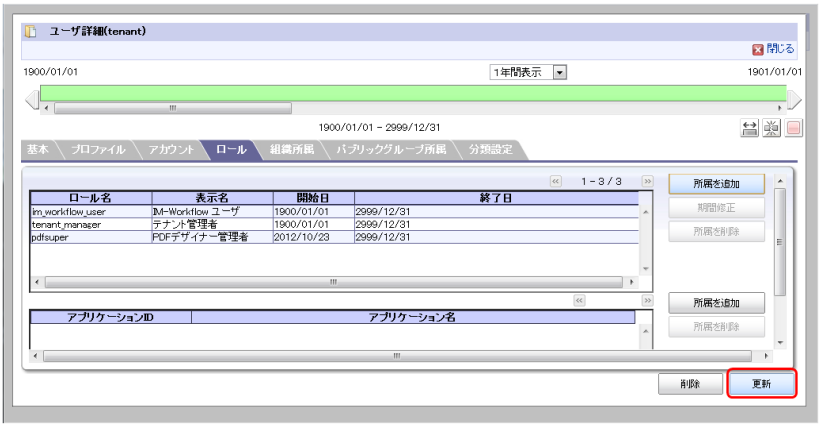


5. ロール検索画面 (新規画面) が表示されるので、「pdf」と入力後、「検索」ボタンをクリックします。



6. 「PDFデザイナー管理者」が下部画面に表示されます。
「PDFデザイナー管理者」を選択後、右ボタンをクリックして追加します。
「決定」ボタンをクリックします。

7. ユーザ詳細画面に戻ります。
「PDFデザイナー管理者」が追加されたことを確認して、「更新」ボタンをクリックします。



8. 「OK」ボタンをクリックします。

一般ユーザによる操作

一般ユーザログイン

1. Webブラウザより 一般ユーザログイン画面「*http://ホスト名:ポート番号/コンテキストパス/login*」へアクセスします。

2. 「ueda」にてログインすると、トップページのメニューに「PDFモジュール」が追加されます。

3. メニュー「PDFモジュール」より、サンプル・チュートリアルの実行が可能です。

intra-mart
Top
Workflow
サンプル
PDFモジュール
サイトマップ
上田辰男
Sample(WebDOC-CSV)
Output PDF directory:
[pdfd/webdoc/result]
Press button to creation PDF file.
Create PDF

帳票エンジン（IOWebDOC）のアンインストール

Windows Server (64 bit) 編

IOWebDOC を Windows Server からアンインストールする方法を説明します。

アンインストール

1. [コントロールパネル] - [プログラム] - [プログラムのアンインストール] 画面を表示します。

2. 下記のプログラムをアンインストールします。
   - YSS IOWebDOC Vx.x.x.x 64bit（x.x.x.xはバージョン番号）
   - Microsoft Visual C++ 2008 Redistributable (IOWebDOC インストール時に同時にインストールした場合のみ)

環境変数の削除

- 環境変数から IOWebDOC の設定を削除します。

  以下の表に従い、設定済みの環境変数を削除します。

変数名	設定内容
PATH	%IODOC_HOME%/bin を削除

Java I/F の削除

- iowebdoc.jar を %RESIN_HOME%/lib から削除します。

以上で、IOWebDOC のアンインストールは完了です。

Red Hat Enterprise Linux 6 (64 bit)編

IOWebDOC を Red Hat Enterprise Linux 6 にアンインストールする方法を説明します。

インストール先を下記ディレクトリとして説明します。

```
/usr/local/webdoc/
```

アンインストール

- IOWebDOC をインストールしたディレクトリ /usr/local/webdoc/ をディレクトリごと削除します。

```
$ rm -r /usr/local/webdoc/
```

Java I/F の削除

- iowebdoc.jar を %RESIN_HOME%/lib から削除します。

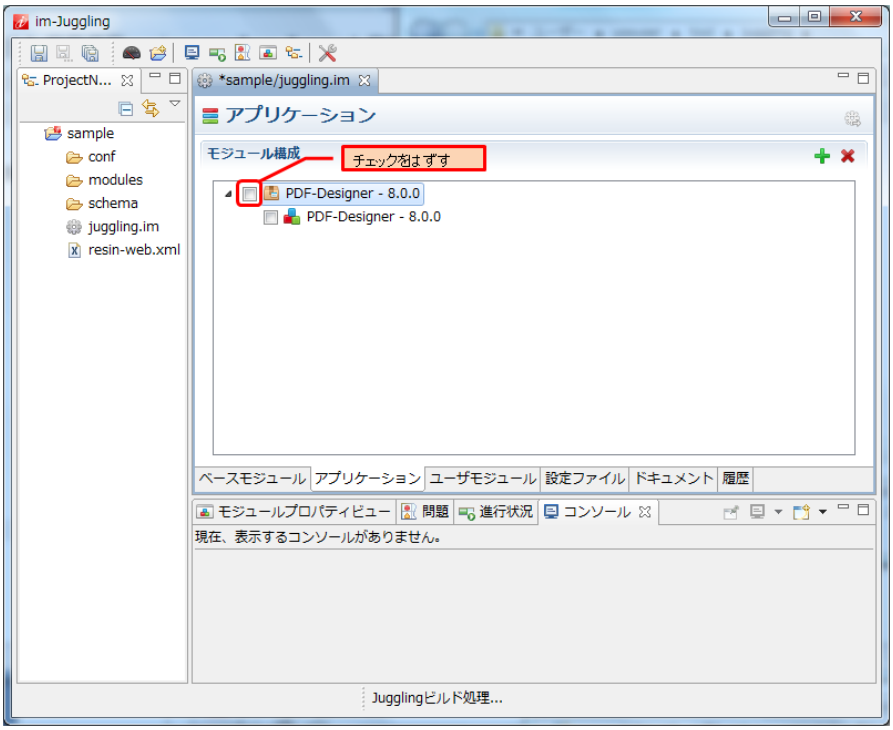
```
$ rm %RESIN_HOME%/lib/iowebdoc.jar
```

以上で、IOWebDOCのアンインストールは完了です。

IM-PDFDesigner for Accel Platform のアンインストール

PDFデザイナー は、iAP の追加アプリケーションです。

PDFデザイナー のアンインストール方法は、 IM-Juggling の プロジェクト作成時にアプリケーションの選択から 除外することで、PDFデザイナー は削除されます。



> **コラム**
>
> PDFデザイナー をインストールすると Storage にサンプルデータが作成されます。
> Storage のサンプルデータは、下記ディレクトリにありますので、 不要になった場合はディレクトリごと削除して下さい。
>
> %PUBLIC_STORAGE_PATH%/public/storage/pdfd/

レイアウトデザインツール（IOWebDOC）のアンインストール

1. [コントロールパネル] - [プログラムと機能] 画面を表示します。
2. 下記のプログラムをアンインストールします。

   YSS IOWebDOC Vx.x.x.x（x.x.x.xはバージョン番号）
3. 以上で レイアウトデザインツールのアンインストールは完了です。

【補足】 IM-PDFDesigner for Accel Platform へのバージョンアップ手順

基本的に上位プログラムは修正なしにそのまま動作いたしますが、以下2点に該当する場合には移行作業とは別にソースコード・帳票レイアウトファイルの修正が必要となります。

該当ケース	必要な作業
廃止メソッド、廃止クラスを利用している場合	ソースコードの修正が必要となります。下記の移行先クラス、および付属のサンプルソースをご覧ください。
2バージョン以上前の帳票レイアウトを利用している場合	新版のデザインツールで既存のレイアウトファイルを開き、上書き保存してください。保存した帳票レイアウトをサーバに配置し、プログラムからPDFファイルを出力ください。出力結果に文字化けや文字のずれがないことを確認ください。文字化けや文字のずれ等は帳票ツール上で修正ください。

コラム
上記に該当するかわからない場合は、個別に営業までご相談ください。

廃止メソッド

setCompressionメソッドは、 IM-PDFDesigner for Accel Platform では、利用できませんのでご注意下さい。

廃止クラス

Storage Service の廃止により、一部のクラスが廃止となりました。

クラス名	廃止/新規	移行先クラス
AbstractBuilder	*廃止(使用できません)*	なし
AbstractPageBuilder	*廃止(使用できません)*	なし
CompressedPDF		
IOCelaPageBuilder	*廃止(使用できません)*	CSVCela
IOCelaPageWriter	*廃止(使用できません)*	CSVCela
IODocPageBuilder	*廃止(使用できません)*	CSVDoc
IODocPageWriter	*廃止(使用できません)*	CSVDoc
PageWriter	*廃止(使用できません)*	なし
PDFBuilder	*廃止(使用できません)*	IOIntegration
PDFDocumentInformation		
PDFException		
PDFIllegalLicenseException		
PDFIllegalParameterException		
PDFIllegalStateException		
PDFIOException		
PDFLibSecurity		
PDFMemoryAccessException		
PDFRuntimeException		
PDFSecurity		
PDFUnsupportedVersionException	新規(サポート対象外のクラスを使用した場合)	

クラス名	廃止/新規	移行先クラス
PDFWriter	*廃止(使用できません)*	IOIntegration
AbstractCSVCela	新規(インスタンスの生成はできません)	
AbstractCSVDoc	新規(インスタンスの生成はできません)	
AbstractIODOC		
AbstractIOIntegration	新規(インスタンスの生成はできません)	
CSVCela		
CSVDoc		
IOIntegration		

利用可能フォント（等幅フォント）

利用フォントは、等幅フォントをご利用ください。可変幅フォントはご利用いただけません。

（例）
MSゴシック/MS明朝　→　OK　等幅フォント
MS Pゴシック/MS P明朝　→　NG　可変幅フォント

> コラム
> どうしても可変幅フォントを利用する必要がある場合、上記に該当するか不明な場合は、個別に営業までお問合せください。

データファイルの文字コード（SJIS/MS932）

データファイルの文字コードは、SJIS（MS932）で作成してください。
データファイルを SJIS（MS932）以外で作成する必要がある場合は、個別に営業までお問合せください。

ファイルの拡張子

拡張子	説明
dlf	レイアウトファイル（単票用）
def	レイアウトファイル（連票用）
iod	IM-PDFDesignerの中間ファイル、IODOCツールにこのファイルを読み込ませると、レイアウトファイル（単票用/dlfファイル）に変換します。
cdd	単票レイアウトとCSVファイルの紐づけファイル

IM-PDFDesigner for Accel Platform へのバージョンアップ手順

1. 既存環境（移行元環境）の帳票レイアウトファイル（拡張子が dlf/def のファイル）を準備します。

> コラム
> dlfファイルが存在しない場合は、拡張子が iod のファイルを探してください。dlfファイルから帳票ツール固有の情報を削除したものがiodファイルとなります。dlfファイルとiodファイルは基本的に同じものです。

2. 作業が必要なファイルは、以下の2種類のファイルとなります。
   ・dlfファイル：帳票レイアウト（単票）- ※ dlfファイルが存在しない場合は、iodファイルを探してください。
   ・defファイル：帳票レイアウト（連票）

3. dlfファイル（単票）の変換

3.1. スタートメニュー　→　YSS IOWebDOC　→　IODOC　を起動します。
3.2. dlfファイル（もしくはiodファイル）を、IODOCツールにドラッグ＆ドロップします。
3.3. 帳票レイアウトが開きます。
3.4. 上書き保存してください。
3.5. dlfファイルと同じ名称の iodファイル が作成されていることを確認ください。
3.6. ファイルの最終更新日時が更新されていることを確認ください。

4. defファイル（連票）の変換
4.1. スタートメニュー　→　YSS IOWebDOC　→　IOCELA　を起動します。
4.2. defファイルを、IOCELAツールにドラッグ＆ドロップします。
4.3. 帳票レイアウトが開きます。
4.4. 上書き保存してください。
4.5. defファイルの最終更新日時が更新されていることを確認ください。

5. 移行先の環境に、IM-PDFDesigner for Accel Platform を手順に沿ってインストールします。

6. 帳票レイアウトファイル/ソースコード一式を新環境に配置します。

> **コラム**
> 帳票レイアウトファイルの置き場所に注意してください。iAPよりストレージサービスの概念がなくなっており、またテナント機能が新たに追加されています。

> **コラム**
> dlf/defファイル以外に cddファイルや画像ファイルを利用している場合は、これらのファイルも一緒に配置してください。基本は帳票レイアウトファイル一式が保存されたフォルダを丸ごと新環境にもっていきます。

7. 動作確認
既存の帳票出力機能からPDFファイルを出力します。
新バージョンではデータチェック機能が厳しくなっており、旧バージョンで作成されたデータがエラーとなる可能性があります
このため、必ずすべての帳票レイアウトについて出力を確認してください。

> **コラム**
> 正常に出力されない場合には、個別にお問合せください。

【補足】 intra-mart e Builder for Accel Platform との連携方法

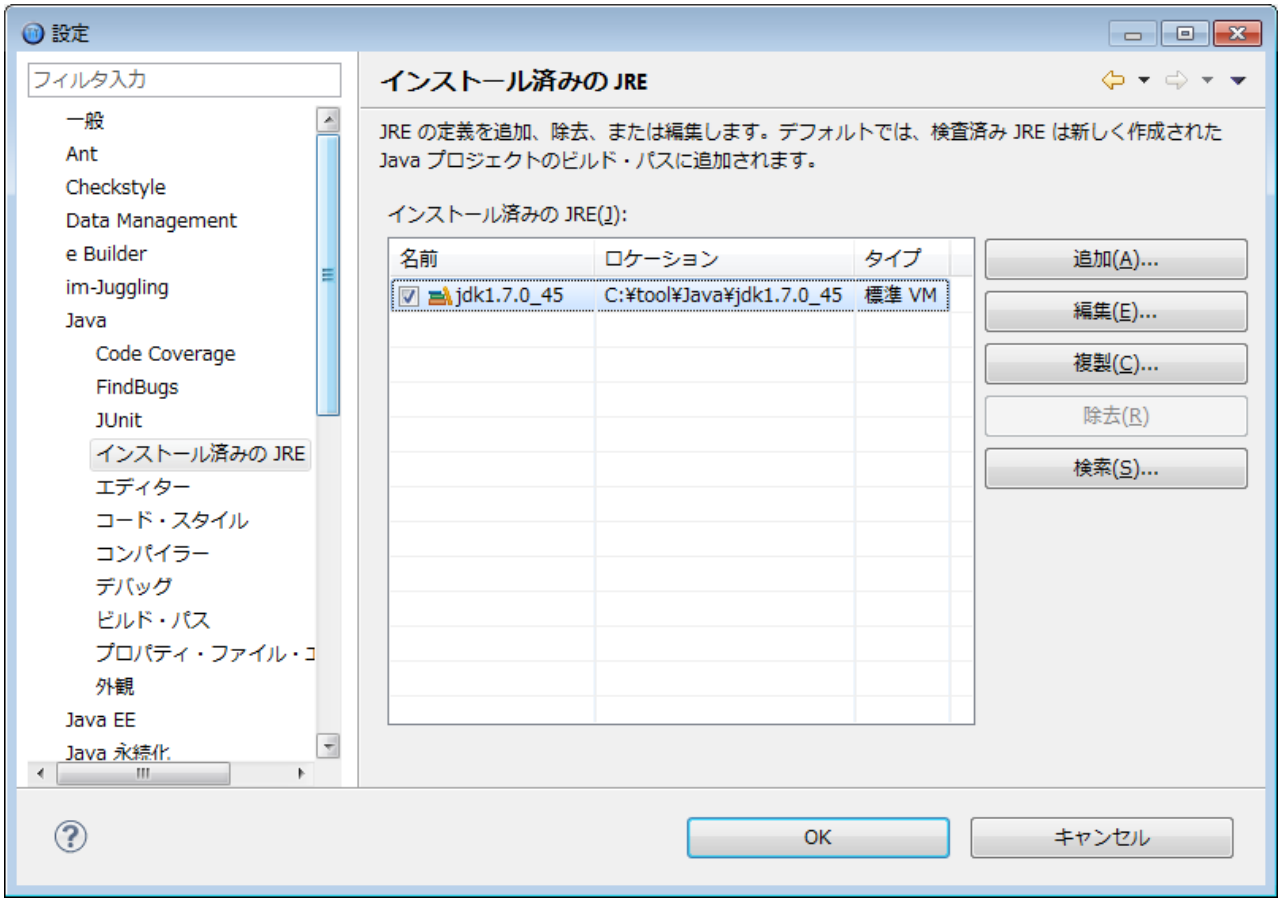
intra-mart e Builder for Accel Platform と IM-PDFDesigner for Accel Platform を連携して開発をすることができます。
サポート環境は、 intra-mart e Builder for Accel Platform のサポート環境に準じます。
インストール手順は、ご利用環境にあわせて適宜読み替えて作業してください。

環境構築手順

1. インストールマニュアルの手順に従って、 intra-mart e Builder for Accel Platform をインストールします。
2. 上記で構築した intra-mart e Builder for Accel Platform 環境に、 IM-PDFDesigner for Accel Platform をインストールします（マニュアルの手順に沿ってインストールをお願いいたします）。具体的には、 IOWebDOCのインストール IM-PDFDesigner for Accel Platform のインストール 環境設定 の3点の作業が必要です。
3. intra-mart e Builder for Accel Platform の環境設定をします。 intra-mart e Builder for Accel Platform は、OSに設定されている環境変数を認識しない場合があり、 IM-PDFDesigner for Accel Platform を起動した際に、UnsatisfiedLinkErrorが発生することがあります。その場合は、 intra-mart e Builder for Accel Platform 本体に環境変数を設定します。

intra-mart e Builder for Accel Platform 用の環境変数設定

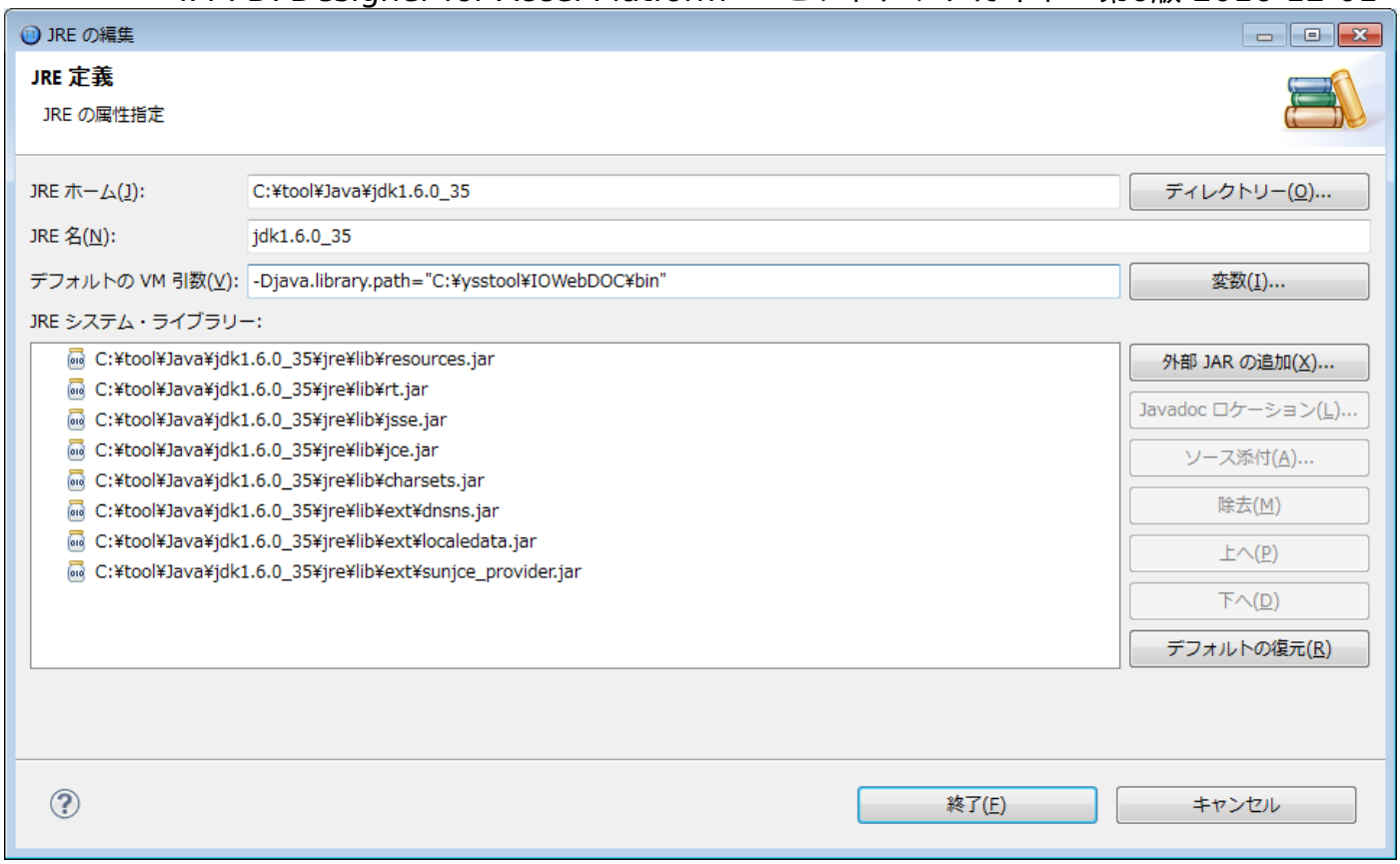
4. intra-mart e Builder for Accel Platform を起動します。
5. ウィンドウ→設定→Java→インストール済みのJRE を開きます。



6. 利用しているJDKを選択して、編集ボタンを押します。
7. デフォルトのVM引数　にIOWebDOCのインストール先bin フォルダ を指定します。

```
-Djava.library.path=”C:\tool\IOWebDOC\bin”
```

8. 入力して、終了ボタンを押します。



9. 再度 intra-mart e Builder for Accel Platform からデバッグを実行ください。IM-PDFDesigner for Accel Platform 付属のサンプルプログラムが正常に動作すれば環境構築は完了です。

> **コラム**
> VMの引数が複数の場所で設定されている場合、優先順位の高い設定のみが有効になります。その場合には、優先順位の高い設定に上記の引数を追加ください。

上記を設定をしてもエラーとなる場合

$RESIN_HOME/win64 に、＄IODOC/bin/iowebjav.dll をコピーしてください。 Resin および intra-mart e Builder for Accel Platform を再起動し、再度処理を実行してください。

【補足】帳票エンジン（IOWebDOC）の差し替え手順

Windows Server (64 bit) 編

帳票エンジン（IOWebDOC）の差し替え手順を説明します。

手順1　Resinの停止

作業前に必ず Resin を停止してください。

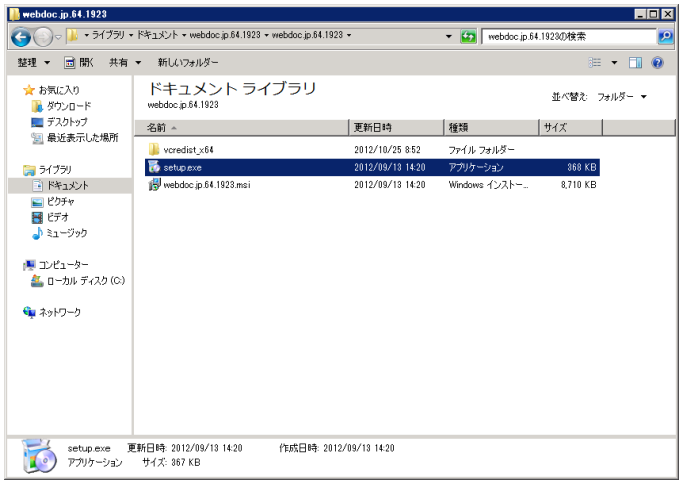
手順2　アンインストール（IOWebDOC）

1. [コントロールパネル] - [プログラム] - [プログラムのアンインストール] 画面を表示します。

2. 下記のプログラムをアンインストールします。
   - YSS IOWebDOC Vx.x.x.x 64bit（x.x.x.xはバージョン番号）
   - Microsoft Visual C++ 2008 Redistributable (IOWebDOC インストール時に同時にインストールした場合のみ)

手順3　インストール（IOWebDOC）

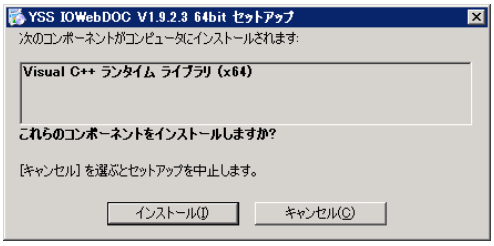
1. CD-ROM の win64 フォルダの webdoc.jp.64.xxxx.zip を 任意のフォルダに解凍します。
2. 解凍後のフォルダ内にある setup.exe を実行します。UACが有効な環境では、必ず右クリック→管理社権限でインストールしてください（正常にインストールされないリスクがあります）。



3. Visual C++ ランタイム ライブラリ (x64) を追加インストールする必要がある場合、 下記画面が表示されます。

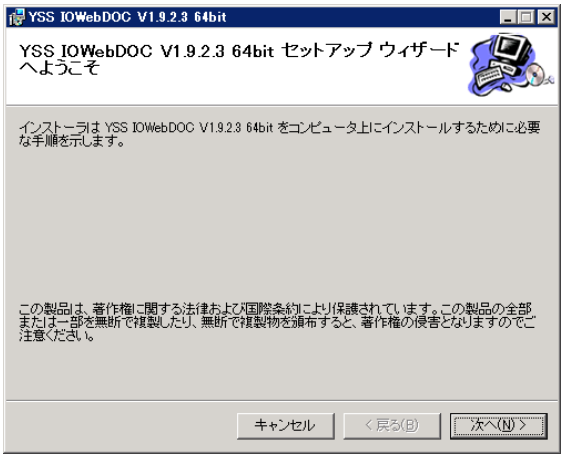
表示されない場合は、次の手順 4. に進んでください。

「インストール(I)」をクリックします。

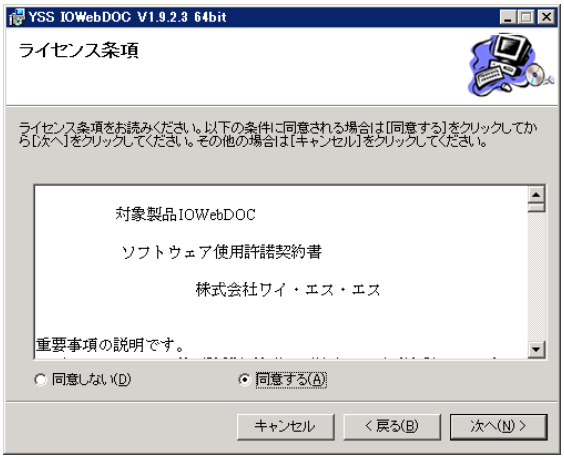


4. IOWebDOC をインストールします。

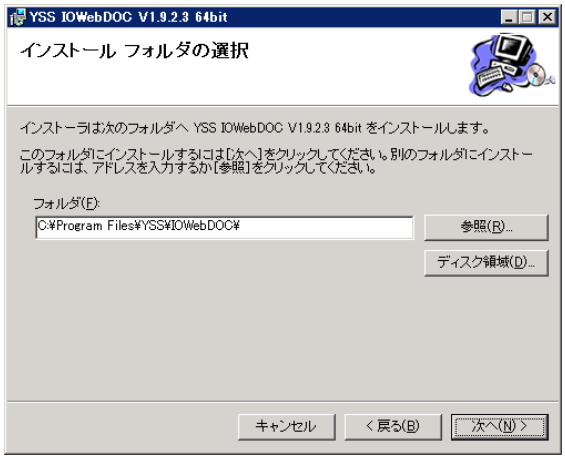
「次へ(N)」をクリックします。



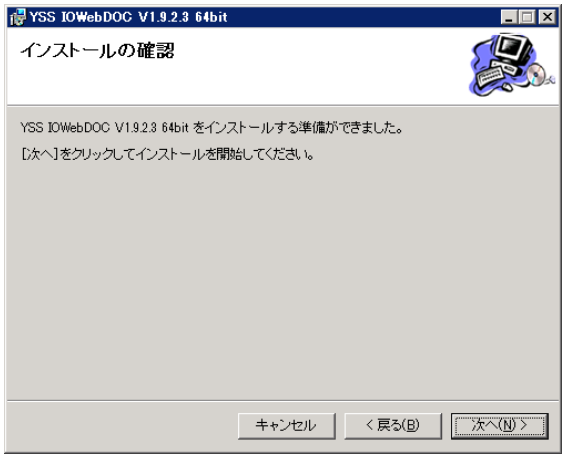
5. ライセンス条項の内容を確認し、同意する場合は「同意する(A)」を選択して「次へ(N)」 をクリックします。



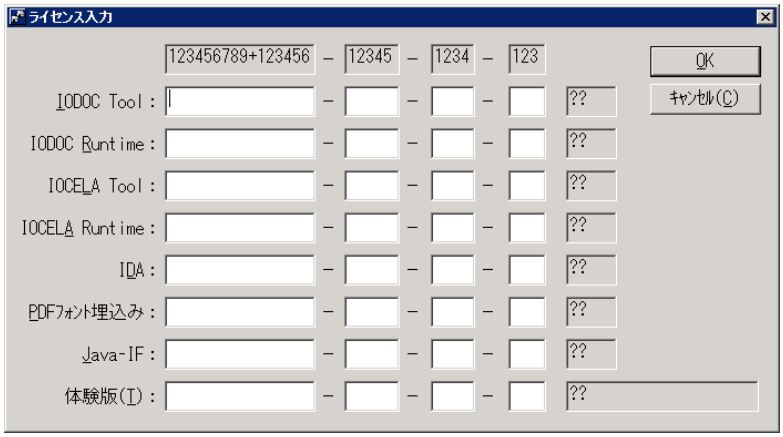
6. インストール フォルダを指定して、「次へ(N)」をクリックします。



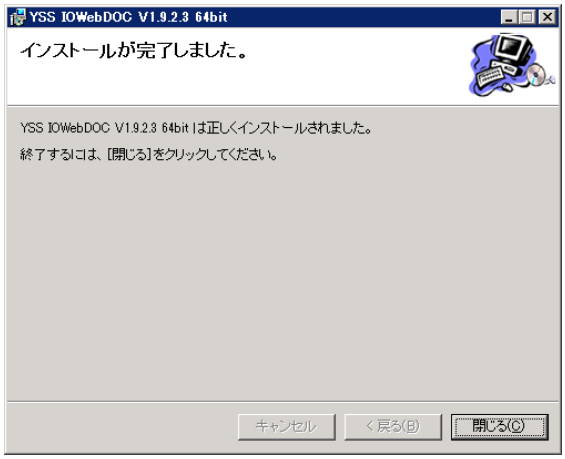
7. 「次へ(N)」をクリックします。



8. ライセンスを入力します。
「OK」をクリックします。



9. 「閉じる(C)」をクリックします。



以上で、IOWebDOCの差し替えは完了です。

> **コラム**
> 既にIOWebDOCが動作している環境の場合、ライセンス入力は不要です。ライセンス入力画面にて、キャンセルボタンを押して画面を閉じてください。

> **注意**
> 必ず同じインストールフォルダにインストールしてください。インストールフォルダを変更する場合は、インストールフォルダに合わせて環境変数を再設定する必要があります

手順4　Resin の起動

Resin を起動し帳票の出力確認をしてください。 正常に出力が確認できれば、作業は完了です。

Red Hat Enterprise Linux 6 (64 bit)編

帳票エンジン（IOWebDOC）の差し替え手順を説明します。

インストール先を下記ディレクトリとして説明します。

```
/usr/local/webdoc/
```

手順1　Resinの停止

作業前に必ず Resin を停止してください。

手順2　アンインストール（IOWebDOC）

- IOWebDOC をインストールしたディレクトリ /usr/local/webdoc/ をディレクトリごと削除します。

```
$ rm -r /usr/local/webdoc/
```

手順3　インストール（IOWebDOC）

1. IOWebDOC セットアップファイルをコピーします。
   CD-ROM の linux64 フォルダの webdocX.X.X.X.linux.64.jp.sjis.tar を /usr/local/webdoc/ にコピーします。

```
$ cp [CD-ROM マウントディレクトリ]/linux64/webdoc.x.x.x.x.linux.64.jp.sjis.tar /usr/local/
```

2. 圧縮ファイルを解凍します。

```
$ cd /usr/local/
$ tar xvf webdoc.x.x.x.x.linux.64.jp.sjis.tar
```

> **コラム**
> Resin を実行するユーザにて解凍します。
> 解凍された各ファイルの権限に、解凍したユーザ権限 (実行、参照権限) が付与されます。

3. 解凍されたディレクトリの名称を *webdoc* に変更します。

```
$ mv webdoc.x.x.x.x.linux.64.jp.sjis webdoc
```

4. ライセンスファイルを入力します。
webdoc/etc/license.txt にライセンスを入力します。

```
$ vi webdoc/etc/license.txt
```

webdoc/etc/license.txt

以上で、IOWebDOCのインストールは完了です。

> **注意**
> 必ず同じインストールディレクトリにインストールしてください。インストールディレクトリを変更する場合は、インストールディレクトリに合わせて環境変数を再設定する必要があります

手順4　Resin の起動

Resin を起動し帳票の出力確認をしてください。 正常に出力が確認できれば、作業は完了です。